

---

# 2012年度決算説明会資料



2013年5月

# 目次

## 【2012年度決算概要】

・決算概要Ⅰ-①<P/L:連結・2行合算>.....	1	・トップラインの増減要因③ ~経費.....	15
・決算概要Ⅰ-②<P/L:各行>.....	2	・有価証券関係損益.....	16
・決算概要Ⅱ-①<B/S:連結・2行合算>.....	3	・有価証券残高・評価損益.....	17
・決算概要Ⅱ-②<B/S:各行>.....	4	・ポートフォリオ(円貨債券).....	18
・コア業務純益・経常利益・当期純利益.....	5	・与信費用・不良債権.....	19
・トップラインの増減要因① ~資金利益.....	6	・取引先支援・金融円滑化への対応.....	20
・預金.....	7	・繰延税金資産.....	21
・貸出金.....	8	・自己資本の状況.....	22
・信用保証協会保証付貸出.....	9	・業績予想.....	23
・住宅ローン.....	10		
・預貸金利ざや①.....	11		
・預貸金利ざや②.....	12		
・トップラインの増減要因② ~非金利収入.....	13		
・投資型金融商品.....	14		

## 【中期経営計画】

・ほくほくフィナンシャルグループ “GO for IT!” ..	24
・北陸銀行 “Next CHALLENGE 2013” .....	40
・北海道銀行 “ALL 1 UP” .....	51

分割子会社北銀コーポレートは再生支援専門会社として設立されましたが、当初の設立目的終了から平成21年9月に清算終了いたしました。一部過年度計数には分割子会社計数を加算し表示しています。

# 決算概要 I ー①<P/L:連結・2行合算>

(単位:億円)

【ほくほくFG連結】	13/3期	前年比	12/3期
経常収益	1,991	▲ 88	2,079
経常利益	293	▲ 95	388
当期純利益	181	39	141
【2行合算】	13/3期	前年比	12/3期
コア業務粗利益	1,455	▲ 108	1,563
資金利益	1,243	▲ 68	1,311
役務取引等利益	183	▲ 5	189
特定取引利益	1	▲ 3	5
その他業務利益 (除く5勘定戻)	➤▲2 26	▲ 31	➤▲4 57
経費 (▲) (臨時処理分を除く)	951	▲ 55	1,006
うち人件費	446	▲ 5	452
うち物件費	459	▲ 40	499
コア業務純益	503	▲ 53	557
国債等債券損益	➤+4 90	54	➤+9 36
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	594	0	593
臨時損益	▲ 346	▲ 126	▲ 220
与信費用 (▲)	170	66	104
株式等損益	▲ 85	▲ 35	▲ 50
経常利益	300	▲ 105	405
特別損益	▲ 6	20	▲ 26
法人税等 (▲)	98	▲ 114	212
当期利益	195	28	166

※下線付数字:それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

【ほくほくFG連結】  
**経常利益 293億円** (前年比▲95億円)  
**当期純利益 181億円** (前年比+39億円)

【2行合算】  
**コア業務純益 503億円** (前年比▲53億円)  
 …資金利益・金融派生商品収益の減少、経費の圧縮

**経常利益 300億円** (前年比▲105億円)  
 …債券売却益の増加、与信費用の増加、株式等損益の悪化

**当期純利益 195億円** (前年比+28億円)  
 …法人税等調整額の減少

【連単差の内訳】 (単位:億円)

	13/3期	前年比	12/3期
差額	▲ 14	11	▲ 25
子会社利益	11	3	8
のれん償却	▲ 21	0	▲ 21
有価証券損益調整	▲ 0	2	▲ 2

# 決算概要 I ー②<P/L:各行>

	北陸銀行			北海道銀行 (単位:億円)		
	13/3期	前年比	12/3期	13/3期	前年比	12/3期
コア業務粗利益	823	▲ 61	885	631	▲ 46	678
資金利益	699	▲ 35	735	543	▲ 32	576
役務取引等利益	106	▲ 10	116	77	4	72
特定取引利益	1	▲ 3	5	—	—	—
その他業務利益 (除く5勘定戻)	15	▲ 11	27	➤▲2 10	▲ 19	➤▲4 30
経費 (▲) (臨時処理分を除く)	509	▲ 33	542	442	▲ 22	464
うち人件費	259	▲ 6	265	187	0	186
うち物件費	226	▲ 23	249	232	▲ 17	250
コア業務純益	314	▲ 28	343	189	▲ 24	214
国債等債券損益	54	52	1	➤+4 35	1	➤+9 34
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	368	24	344	225	▲ 23	248
臨時損益	▲ 211	▲ 122	▲ 89	▲ 134	▲ 3	▲ 131
与信費用 (▲)	93	49	44	76	16	59
株式等損益	▲ 67	▲ 54	▲ 13	▲ 18	19	▲ 37
経常利益	183	▲ 91	274	116	▲ 14	131
特別損益	▲ 4	20	▲ 24	▲ 1	0	▲ 1
法人税等 (▲)	56	▲ 79	136	42	▲ 34	76
当期利益	123	9	114	72	19	52

※下線付数字:それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

# 決算概要Ⅱ ①<B/S:連結・2行合算>

(単位:億円)

【2行合算】	13/3期末		12/3期末
	残高	前年比	
貸出金	74,020	1,150	72,870
うち中小企業等	46,925	▲ 724	47,650
うち個人ローン	20,722	516	20,205
有価証券	24,978	260	24,718
預金(含む譲渡性預金)	100,081	3,073	97,008
うち個人預金(含む譲渡性預金)	69,127	1,404	67,722
個人預かり資産	75,263	1,373	73,889
円貨預金(含む譲渡性預金)	68,833	1,404	67,428
外貨預金	293	0	293
公共債	2,505	▲ 63	2,568
投資信託	3,631	32	3,598

金融再生法開示債権	2,367	▲ 1	2,368
金融再生法開示債権比率	3.11%	▲0.06%	3.17%

【ほくほくFG連結】	13/3期		12/3期
	残高	前年比	
自己資本比率	11.88%	0.16%	11.72%
Tier1比率	8.20%	0.38%	7.82%
繰延税金資産対Tier1比率	6.20%	▲4.73%	10.93%

その他有価証券の評価差額	765	369	395
--------------	-----	-----	-----

## 【2行合算】

- ・貸出金 前年比+1,150億円  
…地公体向け・住宅ローンの増加
- ・有価証券 前年比+260億円  
…国債を中心に増加
- ・預金 前年比+3,073億円  
…個人預金、法人預金ともに増加
- ・個人預かり資産 前年比+1,373億円  
…個人預金が増加
- ・開示債権 前年比▲1億円
- ・開示債権比率 前年比▲0.06%

## 【ほくほくFG連結】

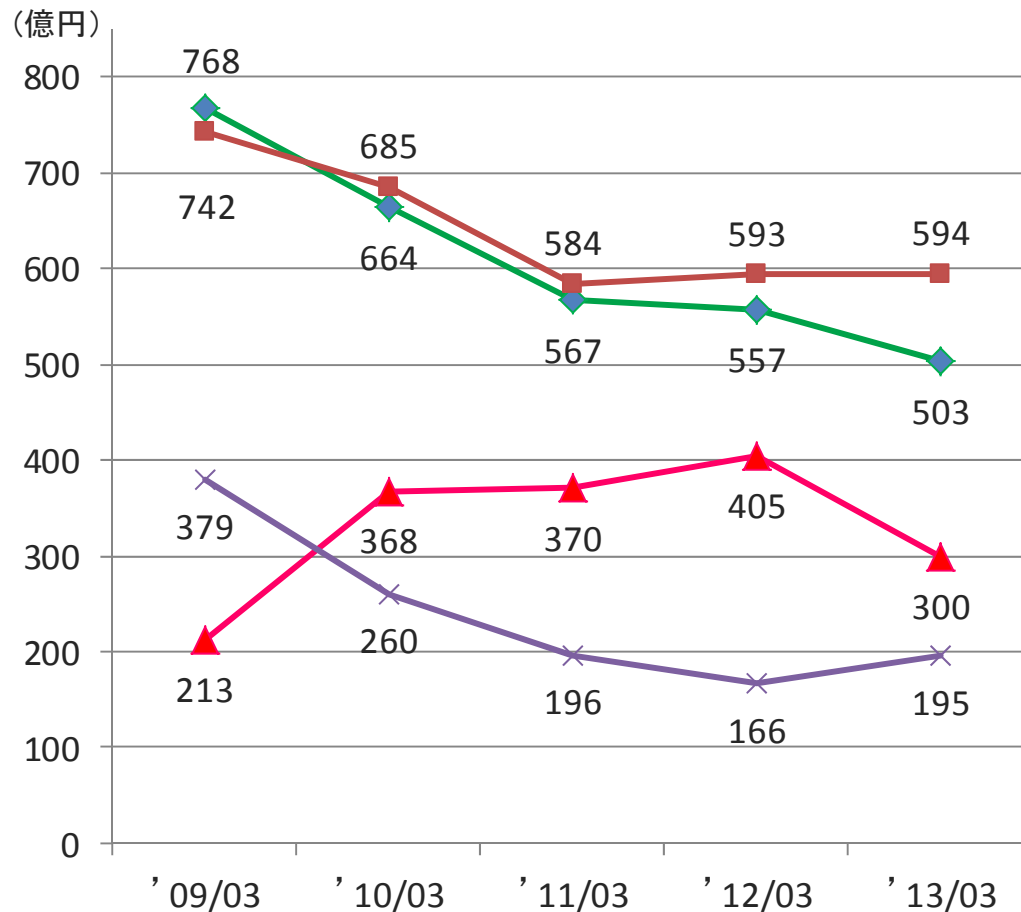
- ・自己資本比率 11.88%
- ・有価証券の評価差額 +765億円

# 決算概要Ⅱ ー②<B/S:各行>

	北陸銀行			北海道銀行 (単位: 億円)		
	13/3期末 残高	前年比	12/3期末 残高	13/3期末 残高	前年比	12/3期末 残高
貸出金	43,327	988	42,339	30,693	162	30,530
うち中小企業等	27,975	▲ 289	28,265	18,950	▲ 434	19,384
うち個人ローン	11,147	521	10,625	9,574	▲ 4	9,579
有価証券	12,696	▲ 458	13,154	12,282	718	11,564
預金(含む譲渡性預金)	57,262	1,811	55,451	42,819	1,261	41,557
うち個人預金(含む譲渡性預金)	37,705	833	36,872	31,421	571	30,849
個人預かり資産	41,475	655	40,819	33,788	717	33,070
円貨預金(含む譲渡性預金)	37,500	847	36,653	31,332	557	30,775
外貨預金	205	▲ 14	219	88	14	74
公共債	1,564	▲ 118	1,682	941	54	886
投資信託	2,205	▲ 59	2,264	1,425	91	1,334
金融再生法開示債権	1,484	▲ 50	1,535	882	48	833
金融再生法開示債権比率	3.34%	▲0.19%	3.53%	2.79%	0.13%	2.66%
自己資本比率	11.78%	▲0.07%	11.85%	11.23%	0.43%	10.80%
Tier1比率	8.23%	0.46%	7.77%	7.62%	0.45%	7.17%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	5.23%	▲6.21%	11.44%	8.84%	▲3.24%	12.08%
その他有価証券の評価差額	567	262	304	264	103	160

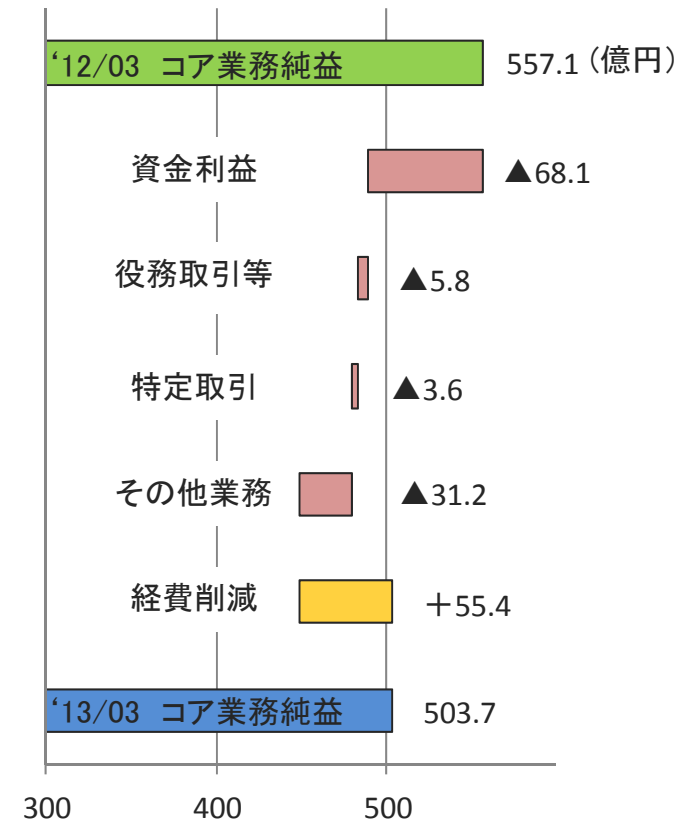
# 実質業務純益・コア業務純益・経常利益・当期純利益

【実質業務純益・コア業務純益・経常利益・当期純利益推移】〈2行合算〉



◆ コア業務純益 ■ 実質業務純益 ▲ 経常利益 × 当期純利益

【コア業務純益増減要因】〈2行合算〉



# トップラインの増減要因① ～資金利益

- 貸出金は平残を増加させたが市場金利低下および他行との競争による利回り低下
- 有価証券は市場金利低下による利回り低下

## 【資金利益(国内部門)の増減要因】

2行合算	13/3期			前年比			要因分析		14/3期計画	
	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	利回	平残	利回
資金利益			1,232			▲72			13/3期比	
貸出金	72,634	1.54%	1,119	1,223	▲0.10%	▲54	19	▲73	112	▲0.07%
有価証券	23,494	0.87%	205	▲29	▲0.15%	▲35	▲0	▲35	912	▲0.05%
預金・NCD	97,270	0.07%	74	2,128	▲0.03%	▲22	1	▲24	867	▲0.02%
(億円)										
北陸銀行	13/3期			前年比			要因分析		14/3期計画	
	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	利回	平残	利回
資金利益			692			▲40			13/3期比	
貸出金	42,096	1.46%	615	543	▲0.11%	▲40	8	▲48	▲47	▲0.06%
有価証券	12,005	1.05%	126	▲215	▲0.07%	▲10	▲2	▲8	663	▲0.12%
預金・NCD	55,201	0.07%	41	980	▲0.03%	▲15	0	▲16	754	▲0.02%
(億円)										
北海道銀行	13/3期			前年比			要因分析		14/3期計画	
	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	利回	平残	利回
資金利益			540			▲31			13/3期比	
貸出金	30,537	1.65%	504	680	▲0.08%	▲14	11	▲25	159	▲0.08%
有価証券	11,488	0.68%	78	186	▲0.23%	▲24	1	▲26	248	0.02%
預金・NCD	42,069	0.07%	32	1,148	▲0.02%	▲6	0	▲7	113	▲0.03%

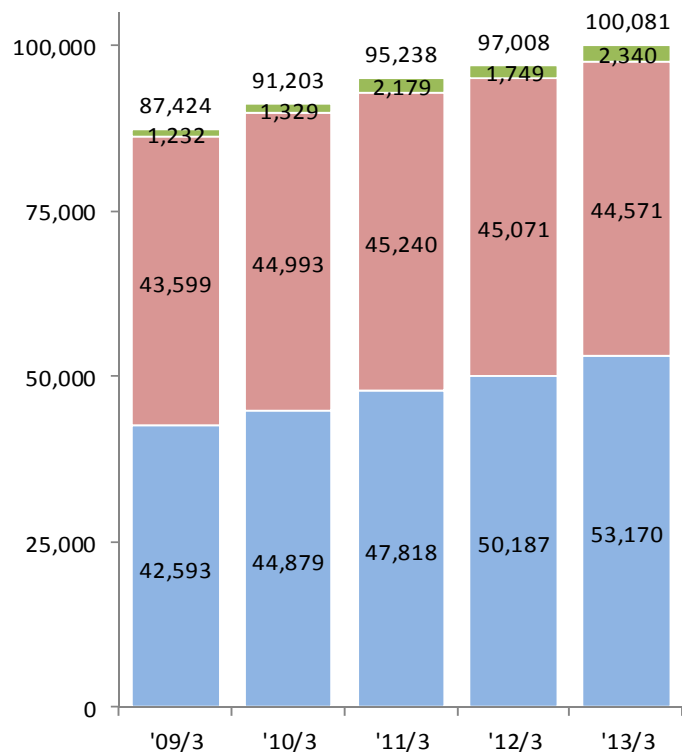


# 預金

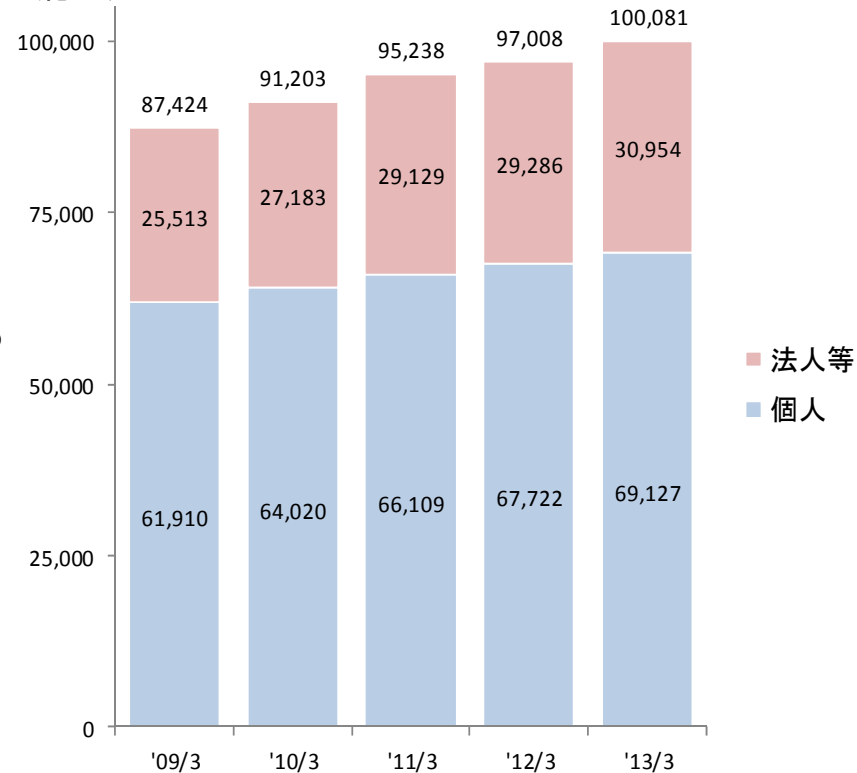
- 預金・NCD           10兆0,081億円   前年比+3,073億円(+3.16%)
- 流動性預金        5兆3,170億円   前年比+2,982億円(+5.94%)
- 個人預金           6兆9,127億円   前年比+1,401億円(+2.07%)

## 【預金・NCD残高推移】〈2行合算〉

(億円)



(億円)

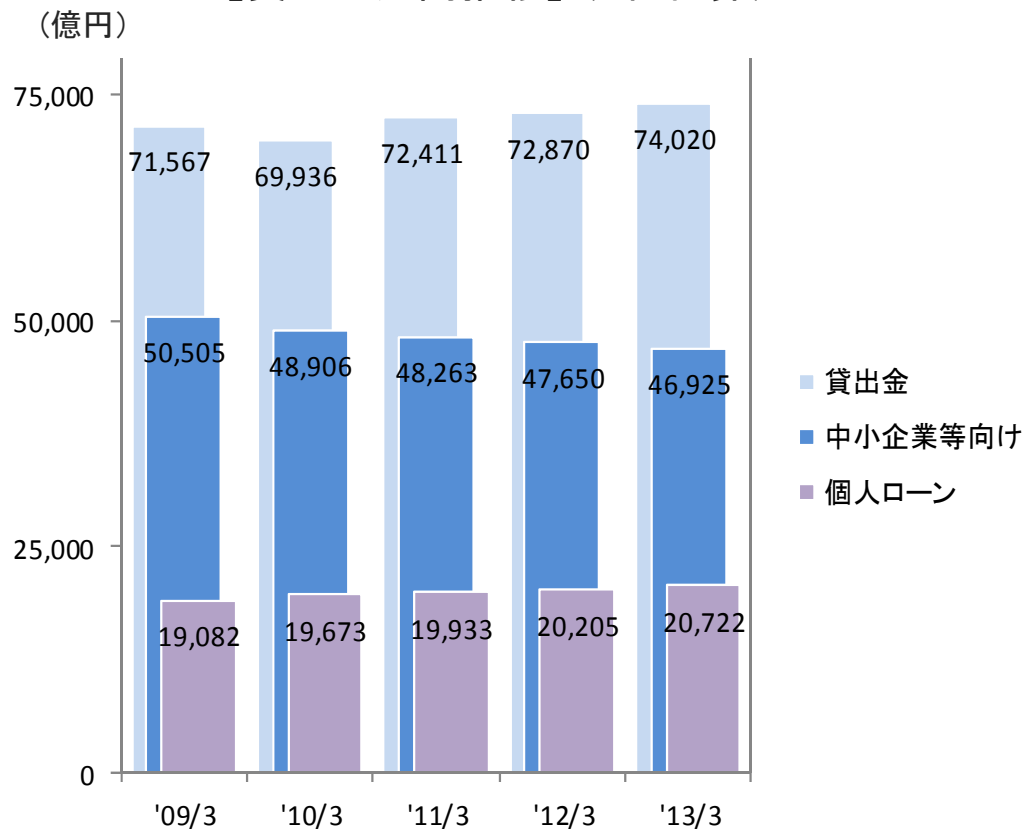


# 貸出金

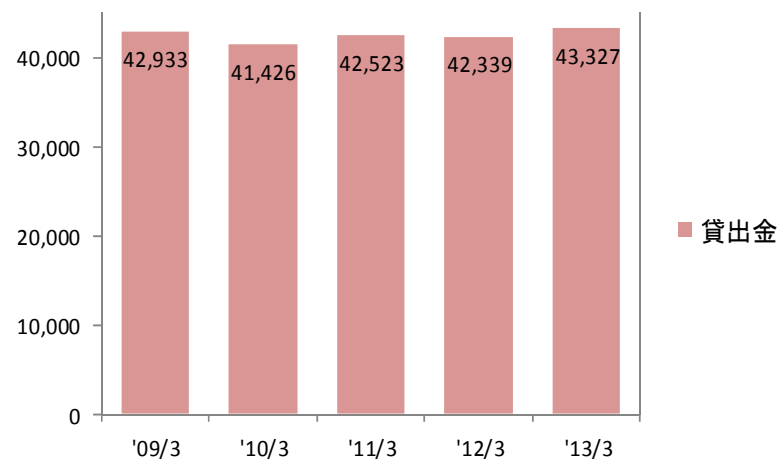
- 貸出金 前年比 + 1,150億円(+1.57%)
- 中小企業等向け 前年比 ▲724億円(▲1.52%)
- 個人ローン 前年比 +516億円(+2.55%)

※償却・売却要因 255億円  
(うち中小企業向け253億円)

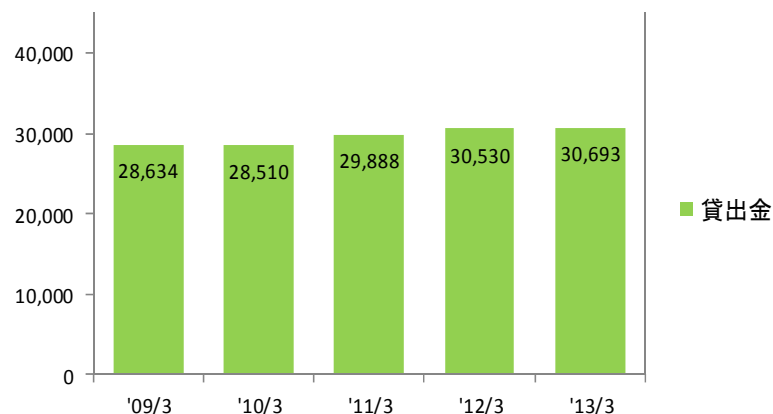
【貸出金残高推移】〈2行合算〉



北陸銀行



北海道銀行

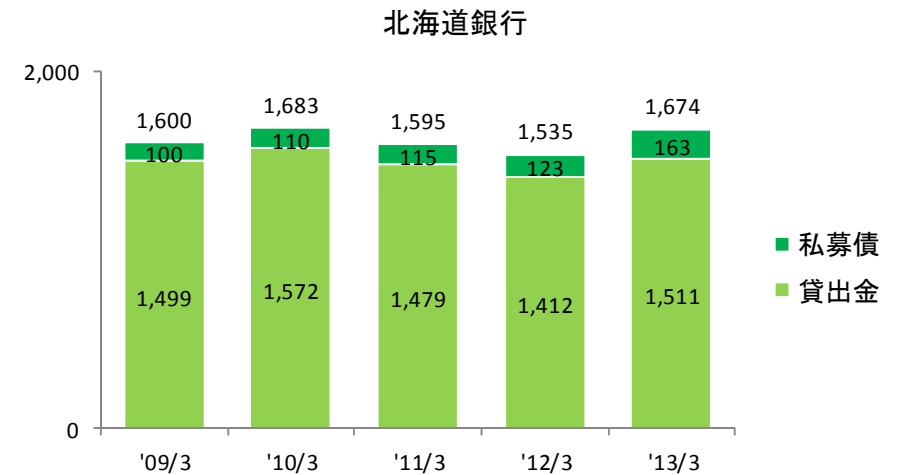
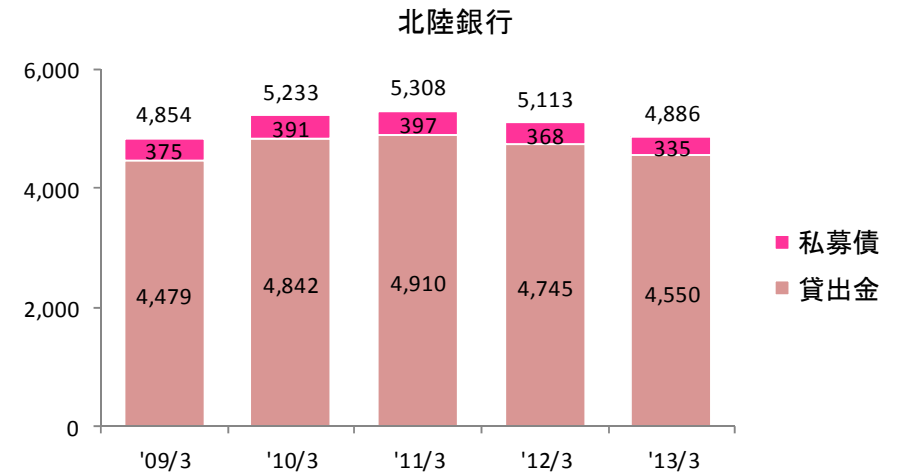
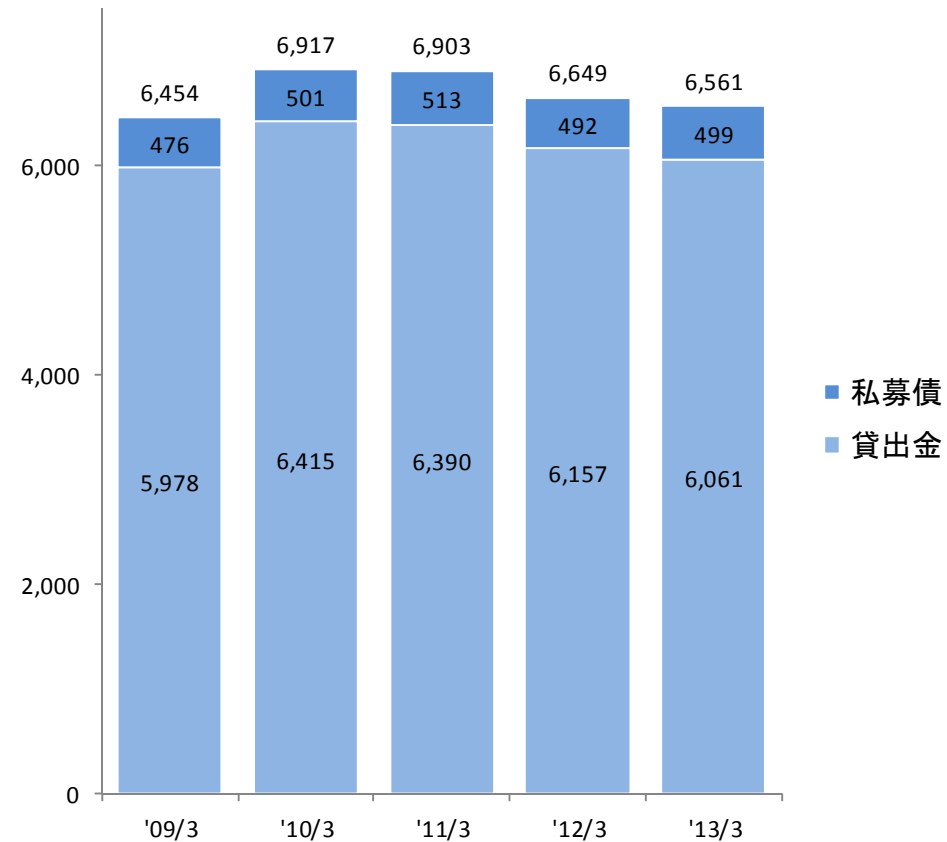


# 信用保証協会保証付貸出金等

➤ 信用保証協会保証付貸出金等残高 前年比 ▲88億円(▲1.32%)

【マル保付貸出金等残高推移】〈2行合算〉

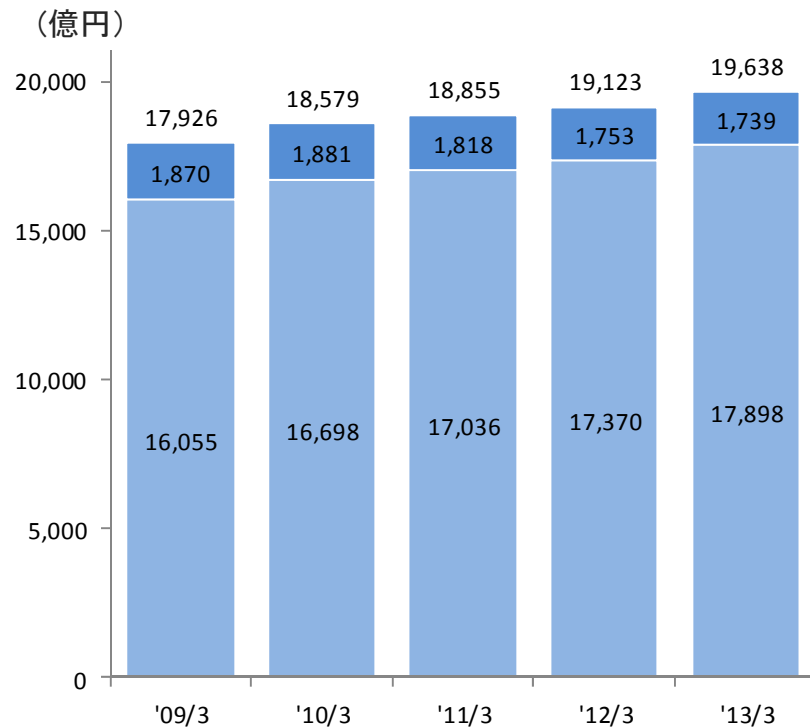
(億円)



# 住宅系ローン

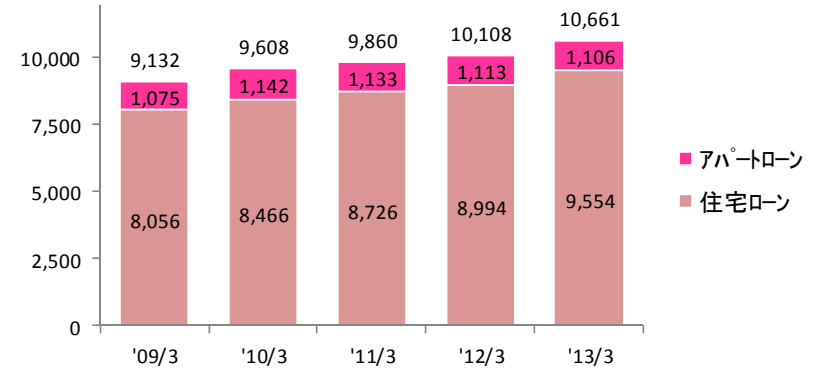
## 住宅系ローン残高は12/3末比+514億円 (+2.69%)

【住宅系ローン残高の推移】〈2行合算〉

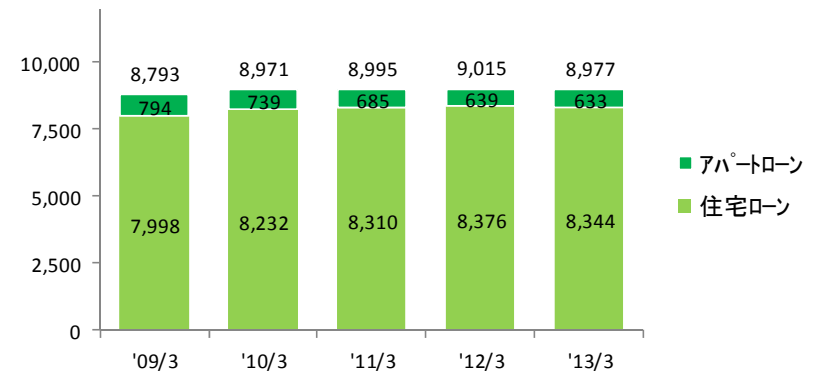


■ アパートローン  
■ 住宅ローン

北陸銀行



北海道銀行



【住宅ローンの実行額推移】

(単位: 億円)

〈2行合算〉

〈北陸銀行〉

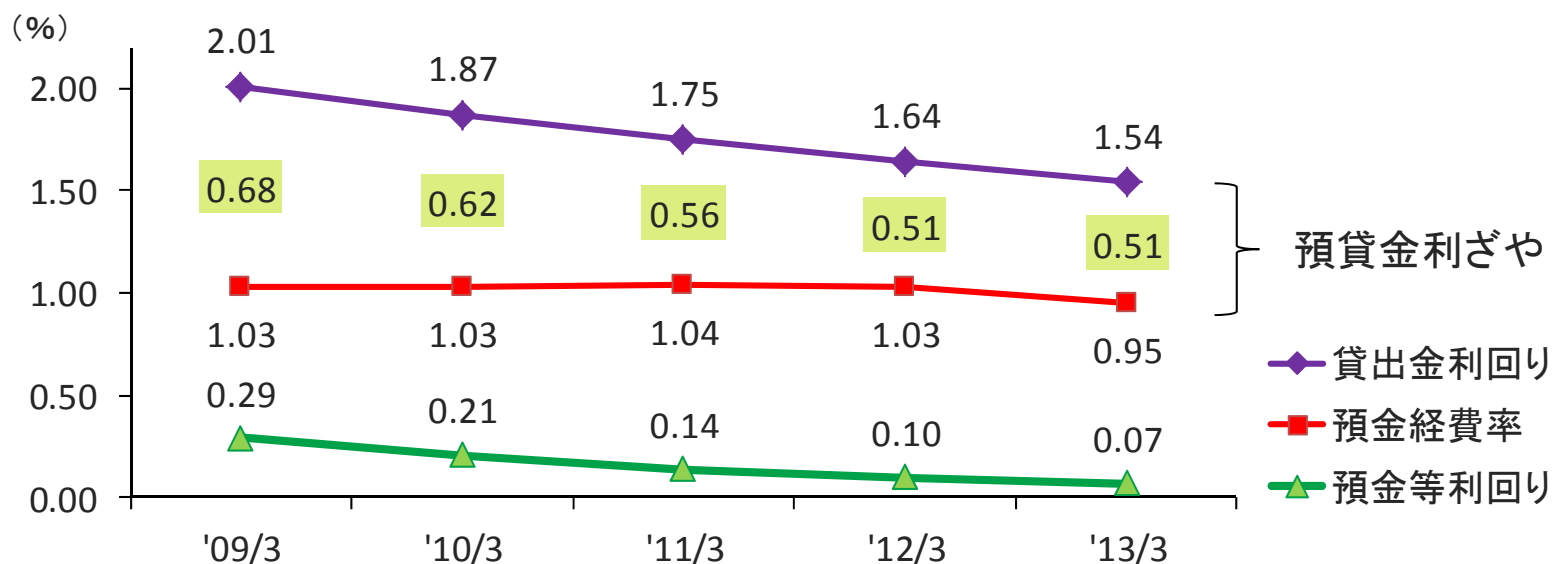
〈北海道銀行〉

住宅ローン実行額	〈2行合算〉					〈北陸銀行〉					〈北海道銀行〉				
	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3
住宅ローン実行額	2,186	2,095	1,894	1,880	1,949	1,108	1,047	961	998	1,142	1,077	1,048	932	881	806
うち新築	1,765	1,413	1,257	1,326	1,502	908	719	595	659	829	856	694	661	667	672
うち借換	421	682	637	553	446	200	327	366	339	313	220	354	270	214	133

# 預貸金利ざや①

- 貸出金利回り 前年比 ▲0.10%
- 預金等利回り 前年比 ▲0.03%
- 預貸金利ざや 前年並み

【預貸金利ざや(国内業務部門)の推移】〈2行合算〉

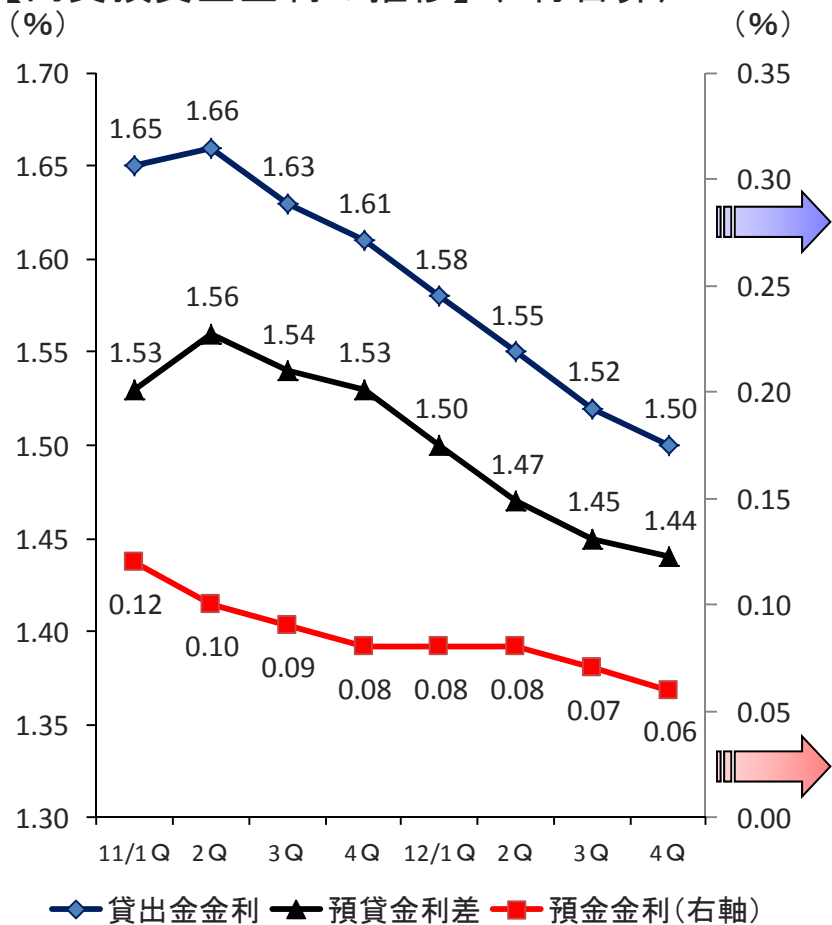


【国内部門】	〈北陸銀行〉					〈北海道銀行〉 (単位: %)				
	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期
貸出金利回り	1.93	1.80	1.68	1.57	1.46	2.14	1.98	1.84	1.73	1.65
預貸金利ざや	0.62	0.59	0.54	0.50	0.48	0.78	0.68	0.60	0.52	0.54
預金経費率	1.00	0.98	0.99	0.97	0.89	1.08	1.10	1.11	1.11	1.03
預金等利回り	0.30	0.22	0.15	0.10	0.07	0.27	0.19	0.12	0.09	0.07

# 預貸金利ざや②

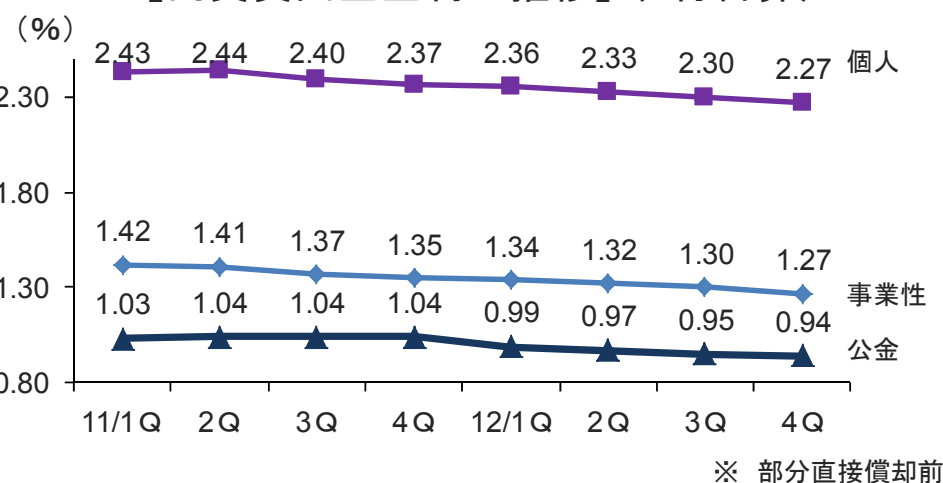
- 12/4Q 貸出金金利 1.50%(11/4Q比▲0.11%)
- 12/4Q 預金金利 0.06%(11/4Q比▲0.02%)

【円貨預貸金金利の推移】〈2行合算〉

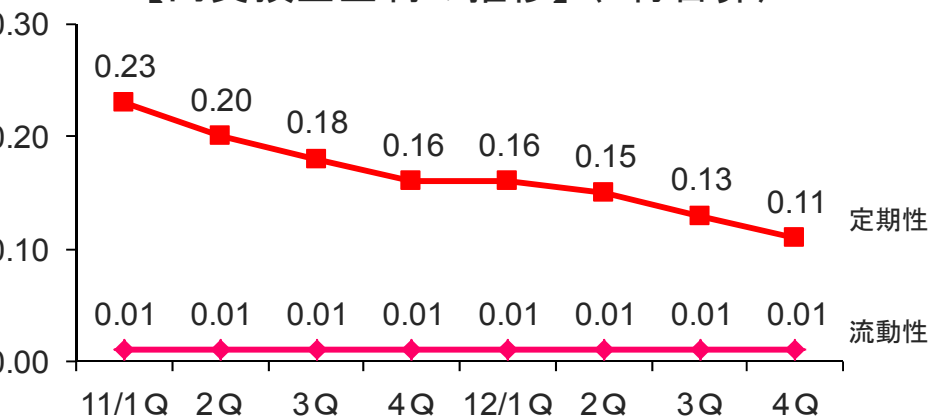


※ 内部管理ベース(約定金利ベース)

【円貨貸出金金利の推移】〈2行合算〉



【円貨預金金利の推移】〈2行合算〉



# トップラインの増減要因② ～非金利収入

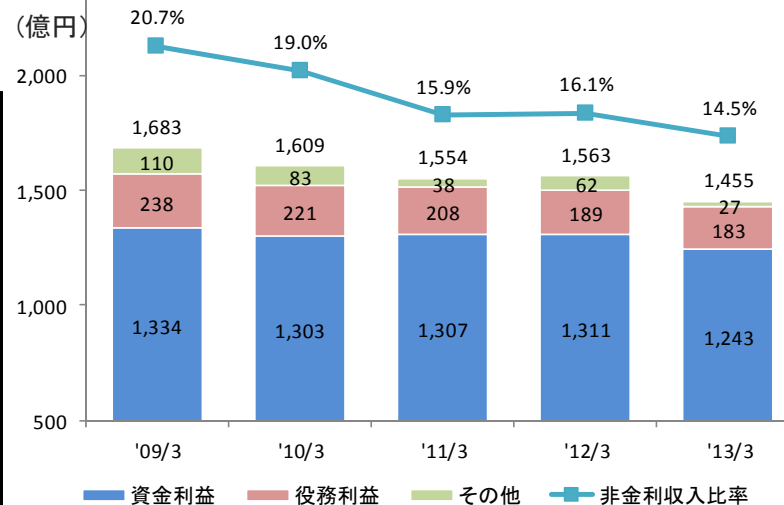
- 投信販売手数料の減少・ローン保険料の増加
- 金融派生商品収益の減少

【非資金利益の増減要因】 (単位: 億円)

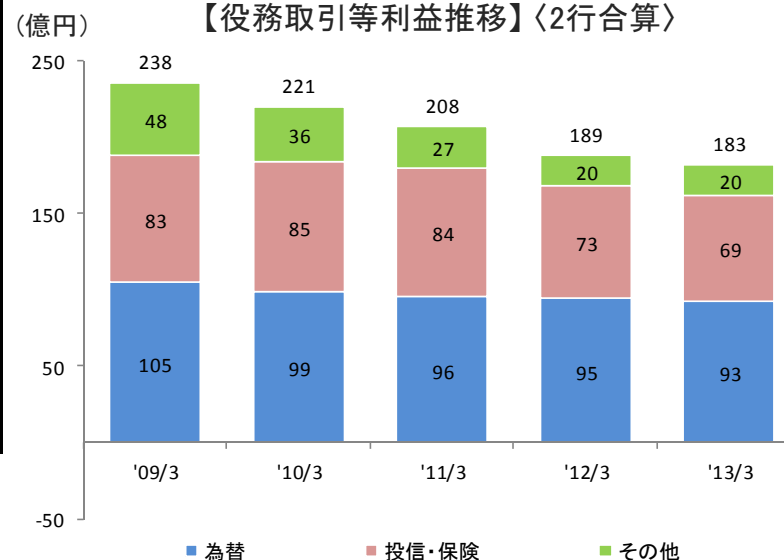
【2行合算】	13/3期	前年比	12/3期
(1) 役務取引等利益	183	▲ 5	189
役務取引等収益	334	▲ 1	336
うち受入為替手数料	112	▲ 2	114
うち投資信託手数料	36	▲ 4	40
うち保険手数料	32	▲ 0	33
役務取引等費用(△)	151	4	147
うち支払為替手数料(△)	18	▲ 0	19
うちローン保険料・保証料(△)	97	3	94
(2) 特定取引利益	1	▲ 3	5
(3) その他業務利益(除く5勘定戻)	26	▲ 31	57
うち外為売買損益	13	▲ 1	15
うち金融派生商品収益	▲2 10	▲ 30	▲4 41
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)	211	▲ 40	251
(5) コア業務粗利益	1,455	▲ 108	1,563
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)	14.51%	▲ 1.59%	16.10%

※下線付数字: それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

【コア業務粗利益推移】(2行合算)



【役務取引等利益推移】(2行合算)



## ➤ 投信・生命保険ともに販売額は減少

〈2行合算〉

	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3
投資信託販売額	842	1,383	1,213	987	874
生命保険販売額	829	944	1,168	1,083	1,008
投資信託手数料	43	53	47	40	36
保険手数料	39	32	36	33	32

〈北陸銀行〉

	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3
投資信託販売額	440	1,046	894	689	461
生命保険販売額	555	514	747	662	535
投資信託手数料	27	37	32	26	20
保険手数料	29	21	25	22	20

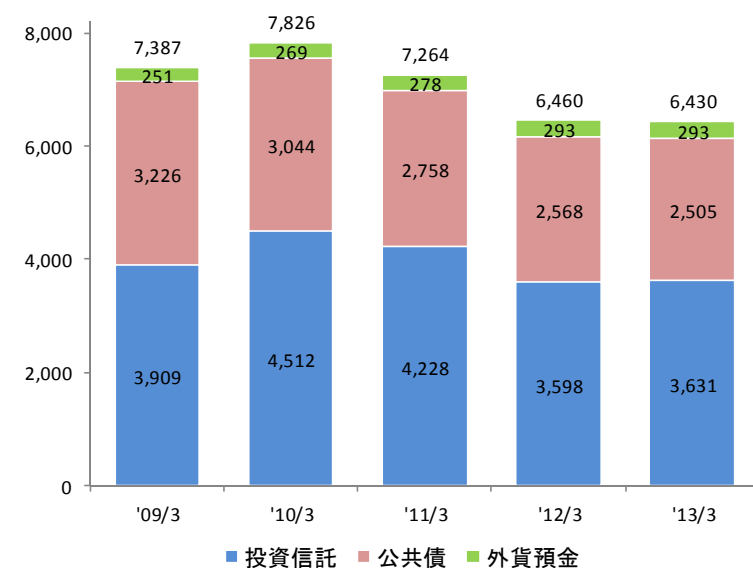
〈北海道銀行〉

(単位: 億円)

	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3
投資信託販売額	401	337	318	297	412
生命保険販売額	273	429	420	420	473
投資信託手数料	16	15	15	13	15
保険手数料	10	11	10	10	12

## 【投資型金融商品(個人)の残高推移】 〈2行合算〉

(億円)



北陸銀行

(単位: 億円)

	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3
投資信託	2,488	2,828	2,650	2,264	2,205
公共債	2,052	1,977	1,847	1,682	1,564
外貨預金	184	193	202	219	205
投資型金商品計	4,725	4,998	4,700	4,165	3,974

北海道銀行

(単位: 億円)

	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3
投資信託	1,420	1,684	1,577	1,334	1,425
公共債	1,173	1,066	911	886	941
外貨預金	67	76	75	74	88
投資型金商品計	2,661	2,827	2,564	2,295	2,455



# トップラインの増減要因③ ～経費

## ➤ システム関連費用および預金保険料の減少

### 【経費の増減要因】

(単位: 億円)

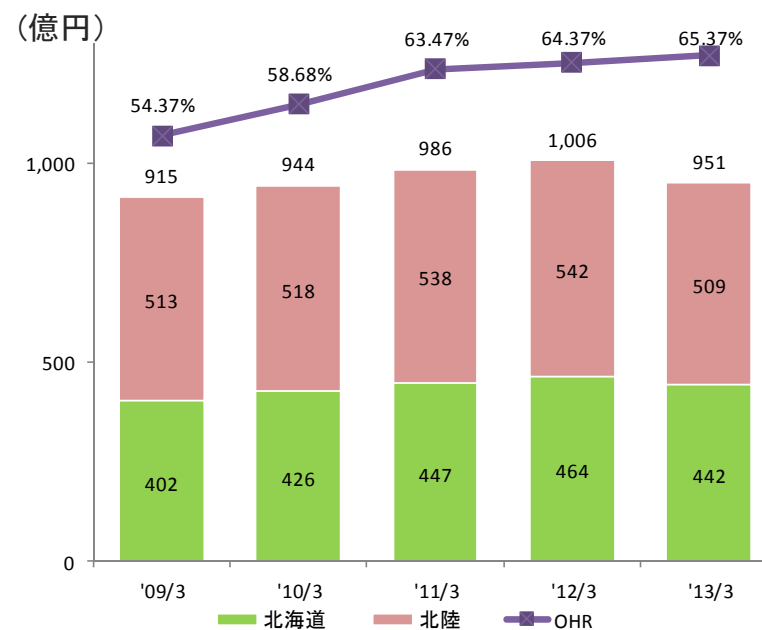
【2行合算】	13/3期	前年比	12/3期
経費	951	▲ 55	1,006
人件費	446	▲ 5	452
物件費	459	▲ 40	499
税金	44	▲ 9	54
OHR	65.37%	1.00%	64.37%
従業員数(A)	5,184	44	5,140
スタッフ数(B)	3,127	▲ 100	3,227
スタッフ比率(B)/{(A)+(B)}	37.62%	▲0.94%	38.56%

※OHR=(経費/コア業務粗利益)

※従業員数は嘱託、パート、派遣社員を除く正行員

※スタッフ数(B)=嘱託行員+契約社員+臨時雇+派遣・直接雇用パート

### 【経費・OHRの推移】〈2行合算〉



**人件費 前年比▲5億円**

…時間外手当等の減少

**物件費 前年比▲40億円**

…システム関連費用・預金保険料の減少

# 有価証券関係損益

- 国債等関係損益      **90億円** (前年比 **+54億円**)
- 株式等損益          **▲85億円** (前年比 **▲35億円**)

## 【有価証券関係損益】

(単位:億円)

	2行合算			北陸銀行			北海道銀行		
	13/3期	前年比	12/3期	13/3期	前年比	12/3期	13/3期	前年比	12/3期
国債等債券損益	90	54	36	54	52	1	35	1	34
売却益	98	45	53	58	56	1	40	▲11	51
償還益	1	1	-	-	-	-	1	1	-
売却損(▲)	5	▲4	10	-	-	-	5	▲4	10
償還損(▲)	-	▲6	6	-	-	-	-	▲6	6
償却(▲)	4	3	0	4	4	-	0	▲0	0
株式等損益	▲85	▲35	▲50	▲67	▲54	▲13	▲18	19	▲37
売却益	3	1	2	1	0	0	2	1	1
売却損(▲)	2	▲2	4	0	▲2	2	1	0	1
償却(▲)	87	39	47	68	57	10	18	▲18	36

減損処理	要注意先以下	時価が取得原価に比べ下落
	正常先	時価が取得原価の50%以上下落、又は、時価が取得原価の30%超50%未満下落かつ市場価格が一定水準以下で推移等

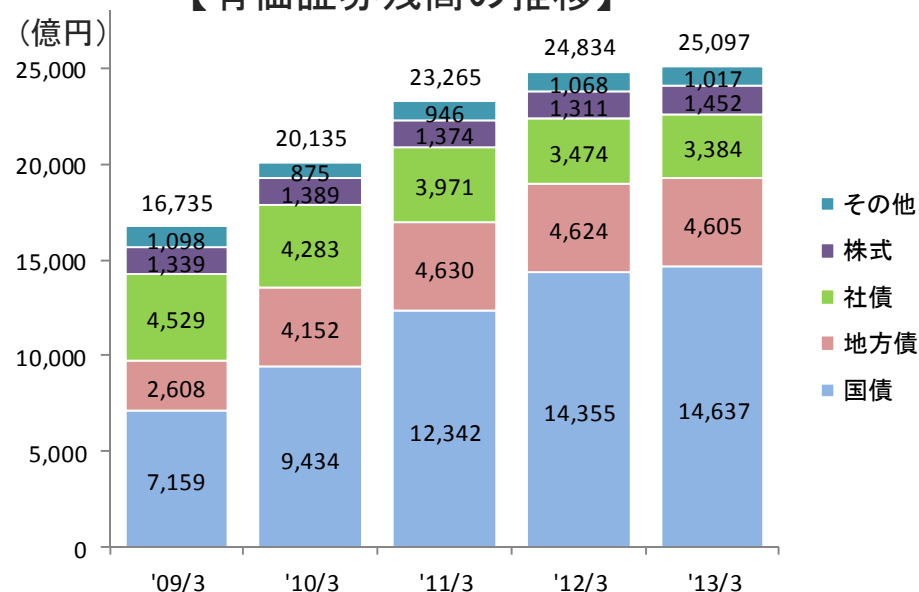
# 有価証券残高・評価損益

- 有価証券残高は国債を中心に増加
- 債券の評価損益は前年比改善

【有価証券残高】 (単位: 億円)

【ほくほくFG連結】	13/3期	前年比	12/3期
有価証券	25,097	263	24,834
国債	14,637	282	14,355
地方債	4,605	▲ 19	4,624
社債	3,384	▲ 89	3,474
株式	1,452	140	1,311
その他	1,017	▲ 51	1,068

【有価証券残高の推移】



【有価証券の評価損益】

(単位: 億円)

【ほくほくFG連結】	取得原価			B/S計上額			評価差額		
	13/3期	前年比	12/3期	13/3期	前年比	12/3期	13/3期	前年比	12/3期
有価証券	23,506	▲ 805	24,311	24,271	▲ 435	24,707	765	369	395
債券	20,853	▲ 536	21,389	21,320	▲ 450	21,770	467	86	381
株式	915	▲ 66	982	1,150	141	1,009	234	207	27
その他	1,737	▲ 202	1,939	1,800	▲ 126	1,927	63	75	▲ 12

# ポートフォリオ(円貨債券)

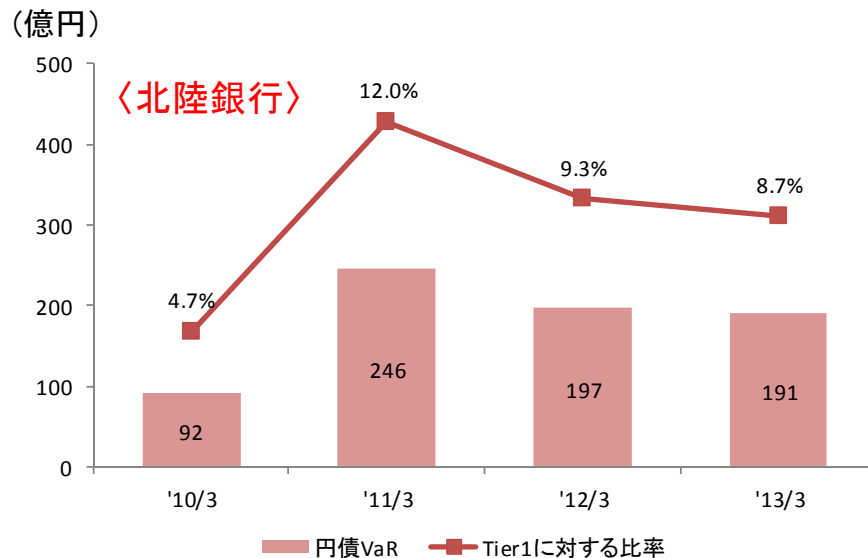
- ▶ デュレーションは短期化
- ▶ 円債VaRおよびVaRのTier1に対する比率が低下

【円貨債券の残高、利回り、デュレーション・金利リスク】

〈北陸銀行〉

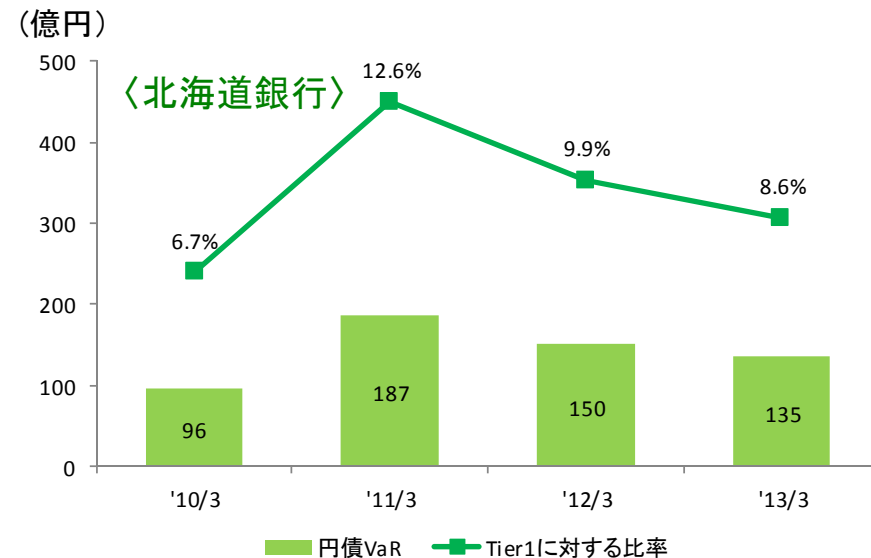
	'12/3	'13/3
残高(末残)	11,773億円	11,233億円
うち変動利付国債	2,261億円	2,761億円
期中平均利回り	1.04%	0.94%
デュレーション※	4.44年	4.08年
VaR	197億円	191億円

※ヘッジ考慮後



〈北海道銀行〉

	'12/3	'13/3
残高(末残)	10,605億円	11,318億円
うち変動利付国債	1,336億円	1,258億円
期中平均利回り	0.76%	0.62%
デュレーション	3.90年	3.69年
VaR	150億円	135億円

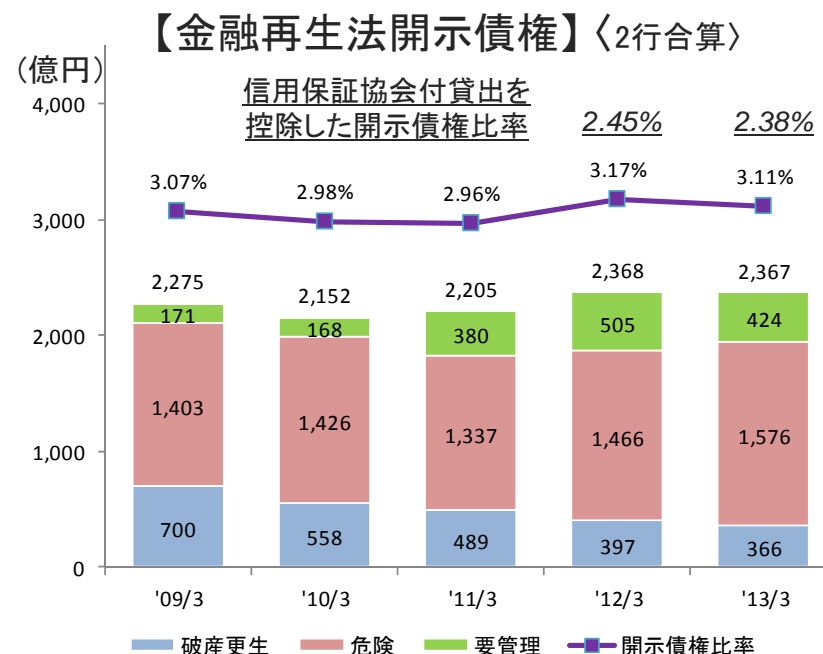
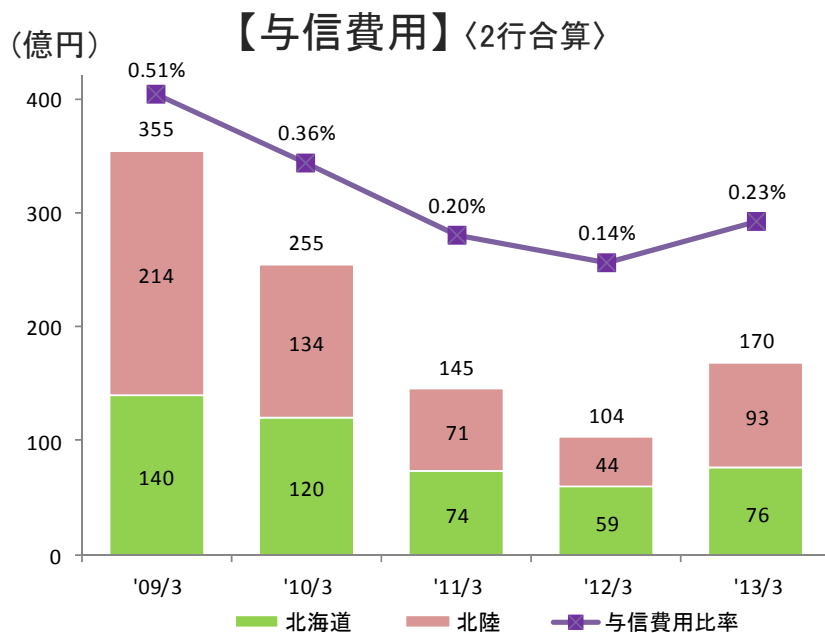


※内部管理ベース

※VaR：11/9期より計測手法を分散共分散法からヒストリカル法に変更

# 与信費用・不良債権

- 与信費用 170億円 (前年比+66億円)、同比率 0.23% (前年比+0.09%)
- 開示債権比率 3.11% (前年比 ▲0.06%)



・与信費用=不良債権処理額+一般貸倒引当金繰入

・与信費用比率=与信費用÷貸出金平均残高

## 北陸銀行+分割子会社

(単位: 億円)

	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3
要管理	127	152	184	267	188
危険	814	925	896	964	1,034
破産更生	485	396	362	304	262
開示債権比率	3.19%	3.42%	3.28%	3.53%	3.34%
開示債権比率※			2.38%	2.53%	2.34%

※信用保証協会付貸出を控除したもの

## 北海道銀行

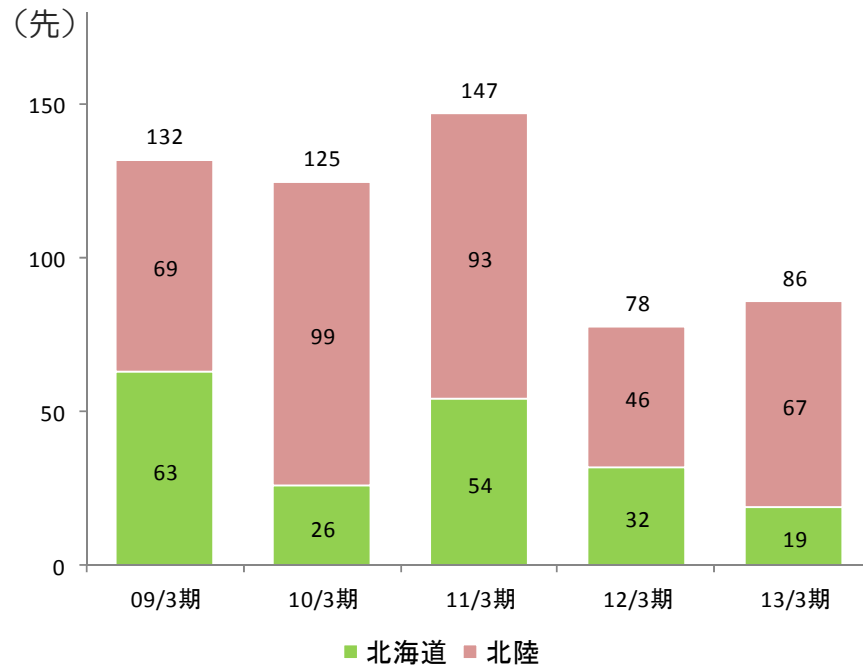
(単位: 億円)

	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3
要管理	44	16	195	238	236
危険	589	501	440	502	542
破産更生	215	162	127	93	104
開示債権比率	2.89%	2.32%	2.49%	2.66%	2.79%
開示債権比率※			2.15%	2.33%	2.42%

## ▶ お客様とのリレーションを重視した経営改善支援に取り組んでいます

### 【経営改善支援の取組成果】

経営改善支援により債務者区分がランクアップした先数



### 【金融円滑化対応実績】<2行合算> (2013年3月末までの累計)

#### ① 中小企業

申込件数	58,633件
実行	54,011件
謝絶	1,617件
取下げ	1,213件
審査中	1,792件

申込金額	19,386億円
実行	18,361億円
謝絶	415億円
取下げ	330億円
審査中	279億円

#### ② 住宅ローン

申込件数	4,139件
実行	3,057件
謝絶	288件
取下げ	101件
審査中	693件

申込金額	549億円
実行	401億円
謝絶	42億円
取下げ	14億円
審査中	92億円

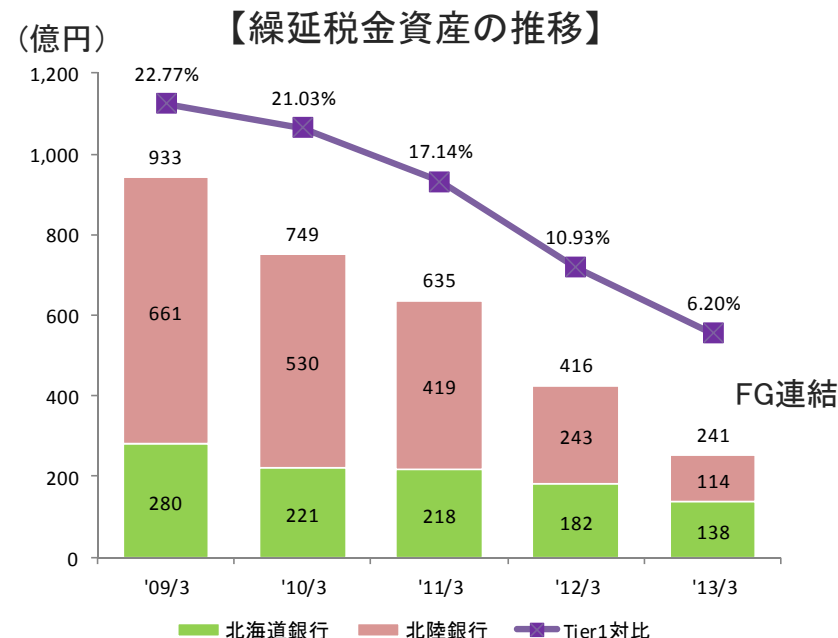
※謝絶には受付から3カ月超過した先を含む

# 繰延税金資産

- 繰延税金資産 241億円 (前年比▲175億円)
- Tier1対比 6.20% (前年比▲4.73%)

【繰延税金資産の発生の内訳】 (単位:億円)

【FG連結】	13/3期	前年比	12/3期
(1) 繰延税金資産小計	976	▲ 79	1,055
貸倒引当金損金算入限度超過額	508	▲ 65	574
減価償却損金算入限度超過額	13	▲ 0	14
退職給付引当金	144	▲ 15	159
有価証券評価損否認額	149	12	136
その他	55	1	53
繰越欠損金	105	▲ 11	117
(2) 評価性引当額	365	▲ 32	397
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	611	▲ 47	658
(4) 繰延税金負債合計	369	127	241
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	241	▲ 175	416



## 北陸銀行

	13/3期	前年比	12/3期
(1) 繰延税金資産小計	661	▲ 64	726
(2) 評価性引当額	308	▲ 28	336
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	353	▲ 36	389
(4) 繰延税金負債合計	239	92	146
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	114	▲ 128	243

## 北海道銀行 (単位:億円)

	13/3期	前年比	12/3期
(1) 繰延税金資産小計	272	▲ 14	287
(2) 評価性引当額	29	▲ 4	33
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	243	▲ 10	253
(4) 繰延税金負債合計	104	33	70
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	138	▲ 44	182

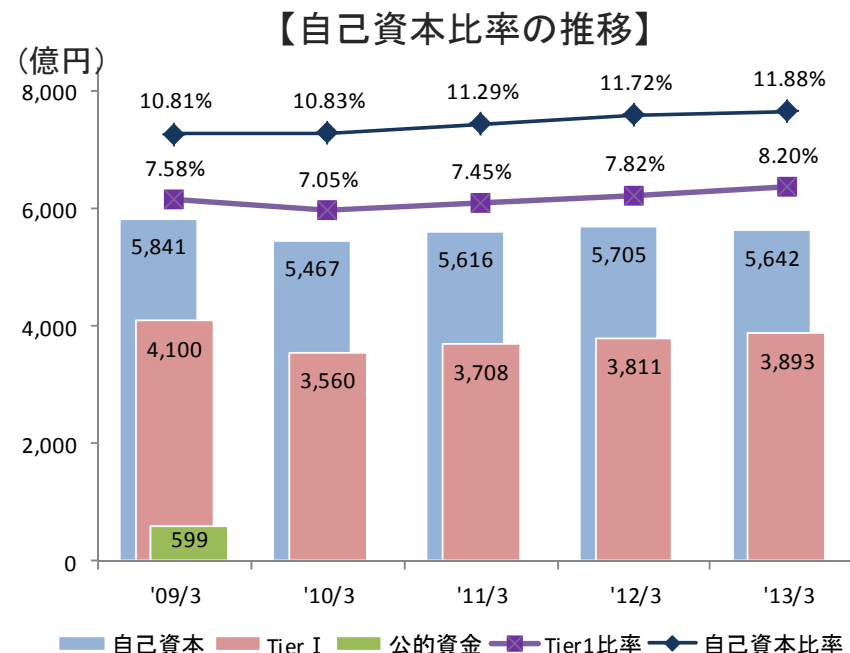
(1) 繰延税金資産小計	976	▲ 79	1,055
(2) 評価性引当額	365	▲ 32	397
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	611	▲ 47	658
(4) 繰延税金負債合計	369	127	241
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	241	▲ 175	416

# 自己資本の状況

## 自己資本比率は11.88%（前年比+0.16%）

【自己資本比率】 (単位: 億円)

【ほくほくFG連結】	13/3期	前年比	12/3期
自己資本比率	11.88%	0.16%	11.72%
Tier1比率	8.20%	0.38%	7.82%
Tier1	3,893	81	3,811
うち優先株式(民間)	537	0	537
Tier2	1,757	▲ 147	1,905
自己資本合計	5,642	▲ 62	5,705
リスクアセット	47,468	▲ 1,212	48,681
信用リスク	44,560	▲ 1,111	45,671
オペレーショナルリスク	2,907	▲ 102	3,009



	北陸銀行			北海道銀行 (単位: 億円)		
	13/3期	前年比	12/3期	13/3期	前年比	12/3期
自己資本比率	11.78%	▲0.07%	11.85%	11.23%	0.43%	10.80%
Tier1比率	8.23%	0.46%	7.77%	7.62%	0.45%	7.17%
Tier1	2,193	67	2,126	1,565	56	1,508
Tier2	947	▲ 168	1,115	740	▲ 23	764
自己資本合計	3,140	▲ 101	3,241	2,305	33	2,272
リスクアセット	26,649	▲ 700	27,350	20,523	▲ 512	21,036

### 【銀行勘定の金利リスク】

	北陸銀行	北海道銀行
金利リスク量	410億円	291億円
アウトライヤー比率	13.06%	12.65%

※99パーセンタイル値



# 業績予想

## 【26/3期 業績予想】 (単位:億円)

【ほくほくFG連結】	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	910	1,810	▲ 181
経常利益	130	250	▲ 43
当期純利益	70	145	▲ 36

## 【26/3期 配当予想】

【ほくほくFG単体】	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	3円75銭	3円75銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

## 【26/3期 業績予想】

(単位:億円)

### 2行合算

	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	840	1,670	▲ 176
コア業務粗利益	690	1,375	▲ 80
経費	480	950	▲ 1
コア業務純益	210	425	▲ 78
与信費用	60	135	▲ 35
経常利益	135	260	▲ 40
当期純利益	80	160	▲ 35

### 北陸銀行単体

	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	460	920	▲ 110
コア業務粗利益	380	760	▲ 63
経費	255	510	1
コア業務純益	125	250	▲ 64
与信費用	40	80	▲ 13
経常利益	75	155	▲ 28
当期純利益	45	95	▲ 28

### 北海道銀行単体

	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	380	750	▲ 66
コア業務粗利益	310	615	▲ 16
経費	225	440	▲ 2
コア業務純益	85	175	▲ 14
与信費用	20	55	▲ 21
経常利益	60	105	▲ 11
当期純利益	35	65	▲ 7



中期経営計画  
“*GO for IT!*”



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
Hokuhoku Financial Group, Inc.

2013年5月

# 前中期経営計画 “Road to 10” の総括

## 中期経営計画 “Road to 10” (2010年4月～2013年3月:3カ年) ～預金量10兆円金融グループへの足固め～

目指す  
グループ像

「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」

- 従来から取り組んできた経営の3つの柱「**営業力の強化**」「**経営の効率化**」「**経営基盤の安定化**」をさらに進め、**公的資金完済後の経営ステージ**にあわせた施策を展開し、**預金量10兆円**へ向けての足固めとする。

### ➤ 成果と課題

	成 果	課 題
営業力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 取引先数拡大</li> <li>✓ BM, 各種セミナー、経営改善支援等ソリューション営業は活発化</li> <li>✓ 預金量10兆円への足固め完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 個社別採算性の向上</li> <li>✓ ソリューション営業の成果をビジネスに繋げる態勢整備</li> <li>✓ 若年行員層の育成</li> </ul>
経営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 3行共同利用システムの安定稼働</li> <li>✓ 経費実額は計画内に抑制</li> <li>✓ 営業人員の増強</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 経費率の更なるコントロール</li> <li>✓ 共同化拡大による機能強化、コストメリットの追求</li> <li>✓ 本部・営業店業務の最適化による効率運営の実現</li> </ul>
経営基盤の安定化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自己資本比率改善</li> <li>✓ 自己株式取得により株主価値向上</li> <li>✓ 安定配当の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新規制に対応した資本の質向上</li> <li>✓ 企業再生支援の取組強化による貸出資産の劣化防止、与信コストの抑制</li> <li>✓ リスク管理(AML等)の高度化</li> </ul>

# 前中期経営計画 “Road to 10” の総括

中期経営計画 “Road to 10” 主要計数の実績 (2010年4月～2013年3月:3ヵ年)

(連結／2行合算)	10年3期 (実績)	13年3期 (計画)	13年3期 (実績)	達成 項目
総預金平残	8兆9,348億円	9兆5,500億円	9兆7,903億円	※
貸出金平残(部直前)	7兆967億円	7兆2,000億円	7兆3,878億円	※
コア業務純益	664億円	700億円	503億円	
(連結)当期純利益	192億円	255億円	181億円	
(連結)自己資本比率	10.83%	11.5%以上	11.88%	※
(連結)Tier I 比率	7.05%	7.5%以上	8.20%	※
OHR (コア業務粗利益ベース)	58.68%	58%	65.37%	
ROA (コア業務純益ベース)	0.68%	0.68%	0.47%	
ROE (連結当期純利益ベース)	5.12%	6%以上	4.01%	
不良債権比率	2.98%	3%程度	3.11%	※

# 新中期経営計画 “GO for IT!” 基本方針

2013年4月 ~ 2016年3月(3カ年)

～持続的な成長に向けた事業戦略の最適化に取り組む期間～

## 名称

# “GO for IT!”

➤ “Go for it!” は「頑張れ！」の意。一人ひとりが更なる成長に向けて努力する、そして、地域とお取引先の発展を応援するという決意を込めた名称です。目指す姿である「親しまれ」(Intimate)、「頼りにされる」(Trustworthy) 地域金融グループに向って前進してまいります。

## 目指す グループ像

「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」

### ◆ 環境認識

#### ➤ 地域経済・マクロ環境

アベノミクス(超緩和政策)、TPP参加交渉、企業の海外移転(チャイナ+1)、地域の人口減・世帯数減、エネルギー(電力)問題、新幹線整備

#### ➤ 営業環境

事業性貸出ニーズの低迷、低金利の競争激化、有価証券運用の環境変化  
ゆうちょ、ネットBKの貸出業務参入、地域他行の店舗移転

#### ➤ 規制・制度

新自己資本比率規制、金融円滑化法終了、IFRS  
消費税増税、日本版ISAの導入

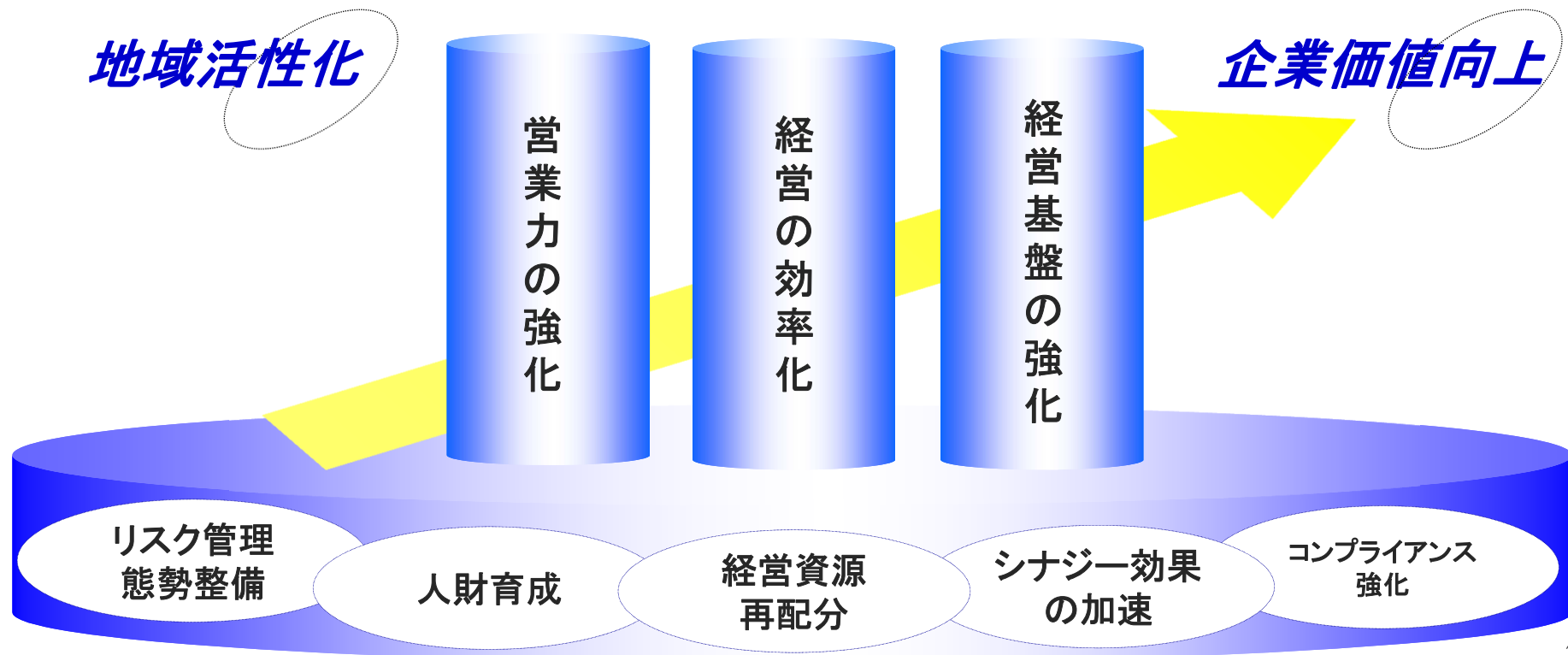
### ◆ 当社グループの状況

- 金利収益の低下、役務収益の伸び悩み
- システム投資費用の高止まり、経費率上昇
- 若年層行員の増加、人員構成の歪み
- コンプライアンス態勢の整備、AML対応

# 新中期経営計画 “GO for IT!” 基本方針

## 基本方針

- 地域のお客さまとのリレーション強化と内部態勢の強化・再構築により、変化する環境のなかで持続的に成長するための態勢を構築する。
- 「営業力の強化」「経営の効率化」の施策を更に推し進めるとともに、「経営基盤の強化」に取り組む。
- 地域の信頼を得て地域活性化に資することを通じて企業価値を高める。



営業力の強化	施策
顧客取引基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 取引先数の更なる増強</li> <li>➤ メイン化、クロスセルの取組強化</li> </ul>
コンサルティング 営業の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 重点分野等の知識武装と推進強化 (農業、医療・福祉、環境・再生エネルギー分野)</li> <li>➤ PB、M&amp;A、事業承継等への取組強化</li> </ul>
広域グループ の優位性発揮	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ビジネスマッチングの進化、質の向上</li> <li>➤ 海外進出先等支援の質の向上</li> </ul>
個人取引マーケット の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ セグメントに対応した施策展開</li> <li>➤ 非対面チャネルの活用</li> <li>➤ 投信・保険販売態勢の整備と推進強化</li> </ul>
有価証券運用の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 事業性貸出の資金需要低迷による資金益減少を補完</li> </ul>



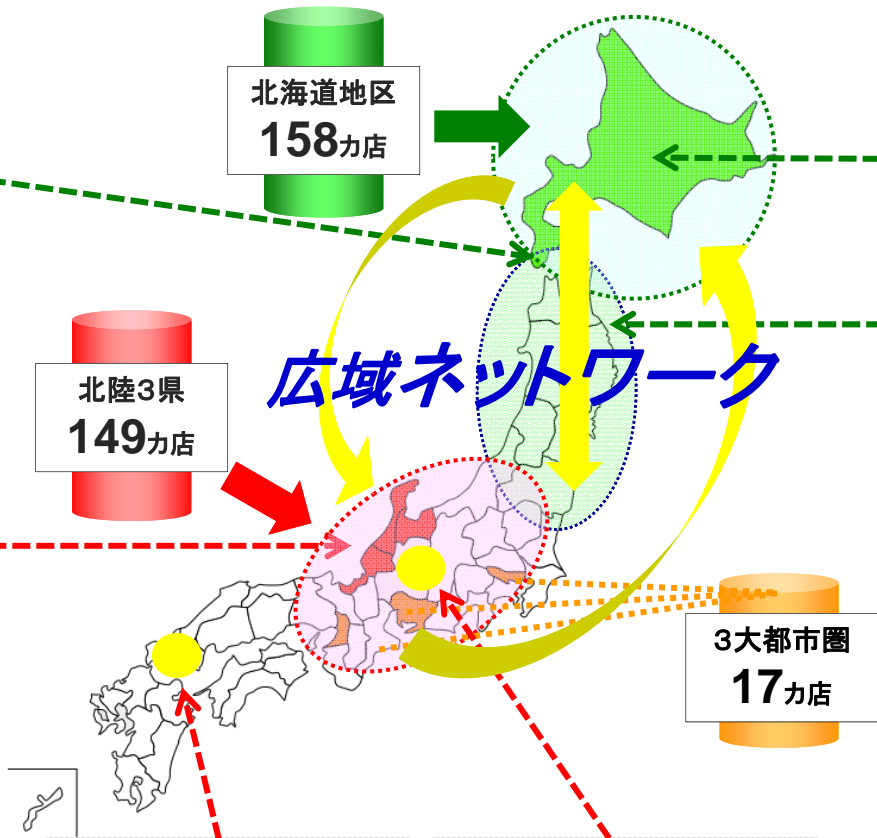
## 広域グループの優位性発揮

## ビジネスマッチングの進化、質の向上 グループ及び他行連携を活用した地域企業へのメリット提供

**北海道新幹線開業**  
2015年度開業(予定)  
新青森⇄新函館  
2035年度開業(予定)  
新函館⇄札幌

**北陸新幹線開業**  
2015年春開業  
富山⇄東京2:07  
  
沿線間の交流増加で観光消費や雇用拡大に期待

**国際線定期便就航**  
2012.4 中華航空  
(富山⇄台湾)  
2012.10 ハワイアン航空  
(新千歳⇄ホノルル)  
2012.10 タイ国際航空  
(新千歳⇄バンコク)



**北海道フード特区**  
2012.4 始動  
食糧供給基地として企業集積を図り、東南アジアへの輸出拠点化を目指す

**地銀連携**  
2013.3 北海道銀行と東北地区に本店を置く地銀10行の業務提携  
 ・青森銀行  
 ・みちのく銀行  
 ・岩手銀行  
 ・東北銀行  
 ・七十七銀行  
 ・秋田銀行  
 ・北都銀行  
 ・荘内銀行  
 ・山形銀行  
 ・東邦銀行  
 北海道新幹線の開業を控え、東北地区と北海道地区との相互交流を支援

**地銀連携**  
北陸銀行と山口銀行  
両行の海外拠点を相互活用し、お取引先企業の支援体制を充実

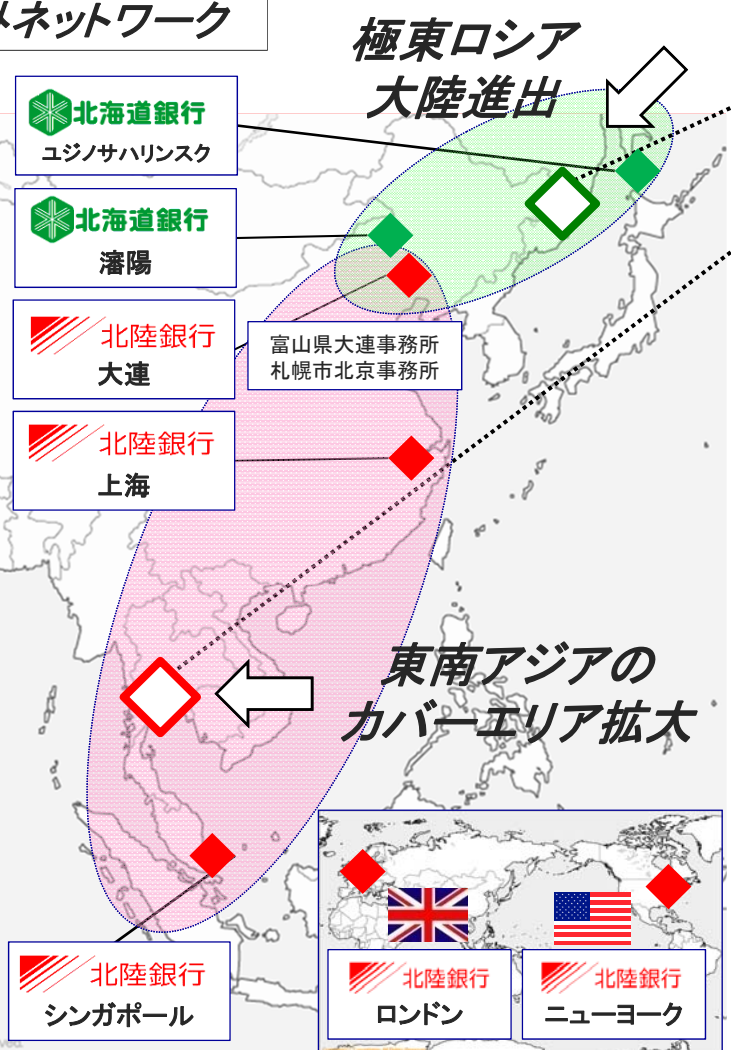
**地銀連携**  
北陸銀行と大垣共立銀行  
東海地方と北陸地方のビジネス商談会を共同開催

広域グループの優位性発揮

海外進出先等支援の質の向上  
グループ海外拠点を活用した幅広いサービス提供

地銀随一の海外ネットワーク

提携外国金融機関	
アジア 全域	スタンダード チャータード 銀行
中国	中国銀行 中国交通銀行 上海銀行
タイ	カシコン銀行
インド	インドステイト 銀行
ベトナム	ベトコム銀行
インド ネシア	バンク・ネガラ・ インドネシア
ロシア	VTB銀行 ガスプロム ズベルバンク



13年度中  
開設予定  北海道銀行  
ウラジオストク  
駐在員事務所

12年3月  
開設  北陸銀行  
バンコク  
駐在員事務所

- ◆ **海外駐在員事務所・行員の派遣**
  - ・8拠点、総勢21名のスタッフ、その他外部機関等へ6名の行員を派遣
- ◆ **取引先へのサポート機能**
  - ・外部専門機関との業務提携（税務、財務、法務などのコンサル）
  - ・ビジネスマッチング、セミナーの開催
  - ・現地法人への直接貸付
  - ・貿易保険・海外リース案件の取次
- ◆ **人財育成**
  - ・語学留学、研修生派遣、語学習得支援

**国際業務に係る連携** 北陸銀行と山口銀行  
両行の海外拠点を相互活用し、お取引先企業の支援体制を充実「青島」「香港」「釜山」

個人取引マーケットの取組強化

セグメントに対応した  
施策の展開

非対面チャネルの強化

投信・保険販売の  
態勢整備と推進強化

施策

- 共同MCIFシステム(EBM情報)を活用した効果的なアプローチを開始
- 若年層、資産形成層、資産運用層、資産承継層に応じた商品・サービスの拡充

- 個人IBサービスの機能拡充
- ホームページのリニューアル

- 日本版ISA対応
- IB投信の推進
- 各種プラザ機能の強化

投信・保険の販売計画(2行合算)

(億円)

	26/3期	27/3期	28/3期
投信	962	1,415	1,670
保険	662	815	970

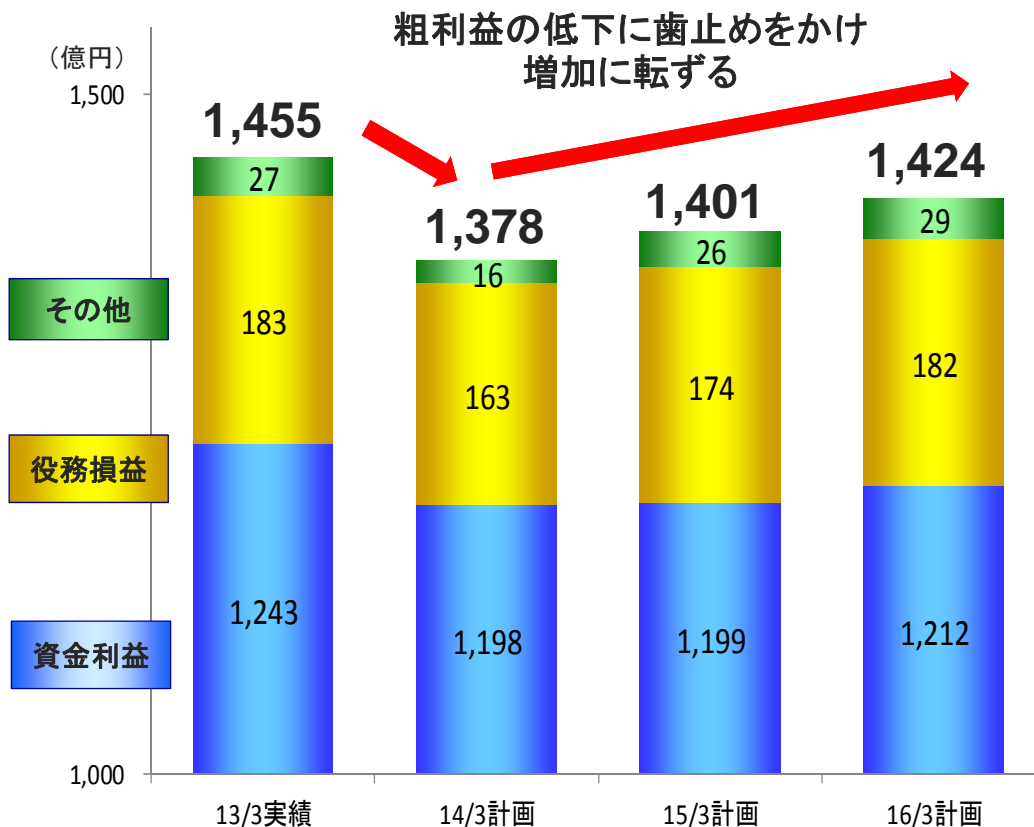
2013年4月開設  
どうぎん保険プラザ大通

保険専門アドバイザー  
がお客さまの幅広い  
ニーズにお応えし、ライフ  
ステージに合わせた最  
適な提案を実施。



# 新中期経営計画 “GO for IT!” 営業力の強化

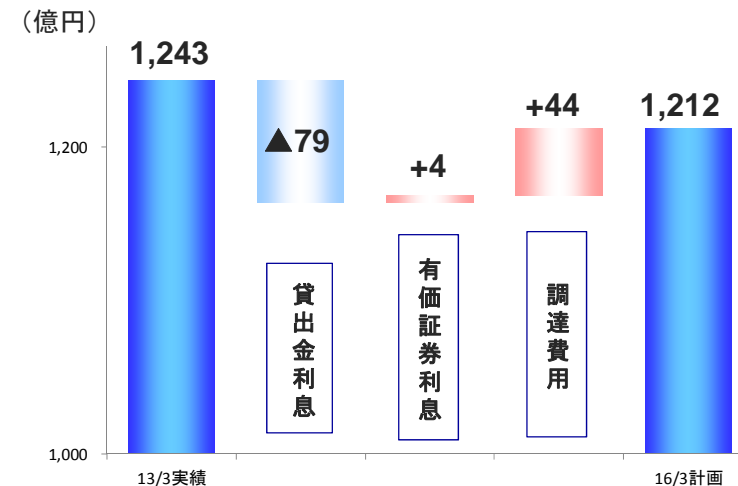
## コア業務粗利益（2行合算）



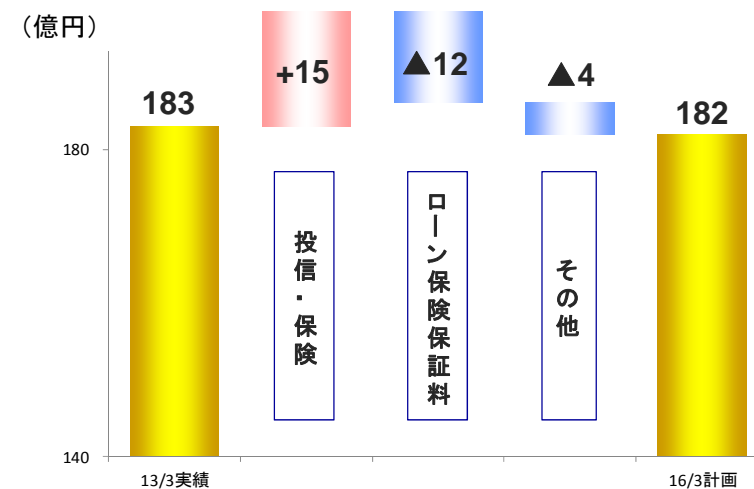
## コア業務純益（2行合算）

13/3期実績	14/3期計画	15/3期計画	16/3期計画
503億円	427億円	447億円	470億円

## 資金利益（2行合算）

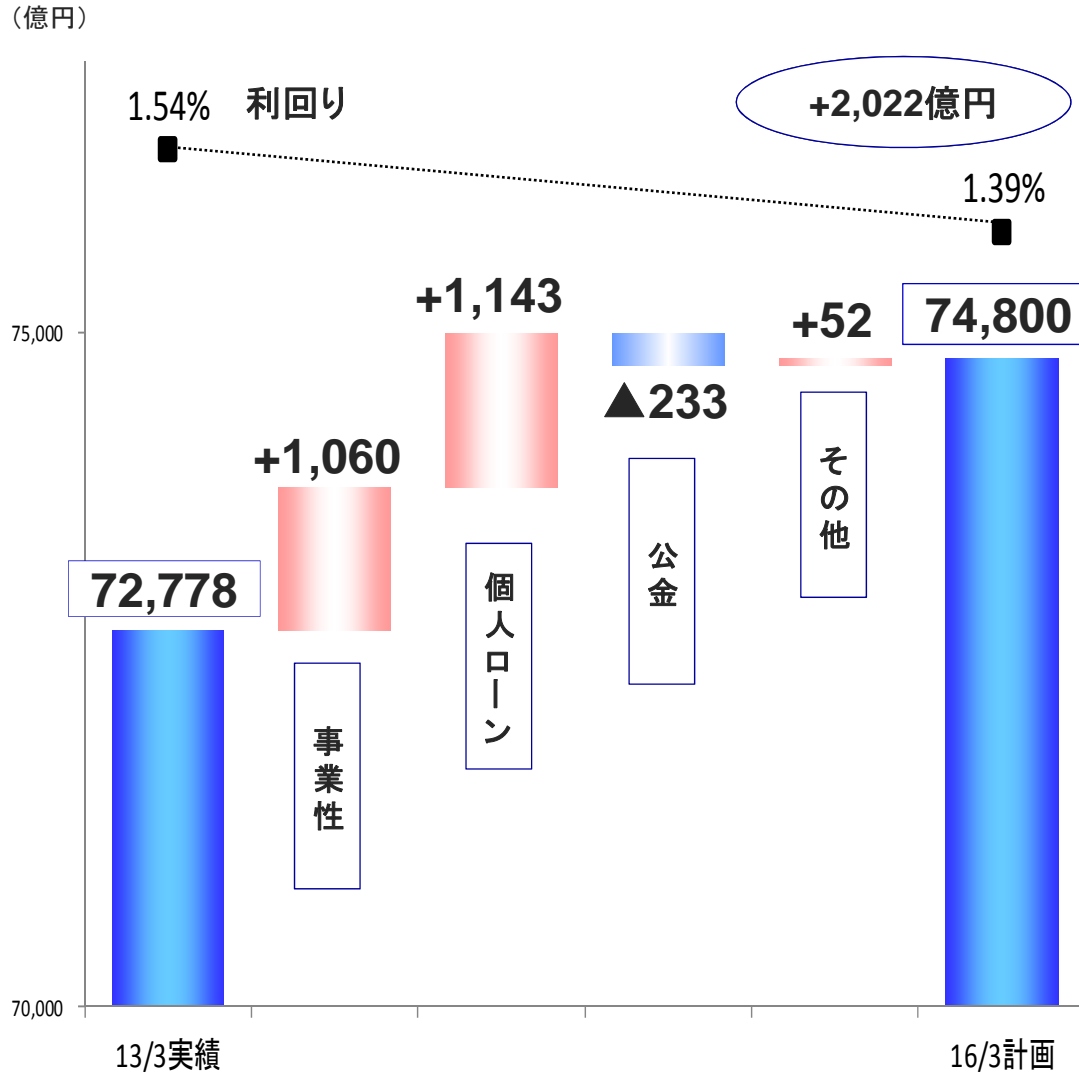


## 役員損益（2行合算）

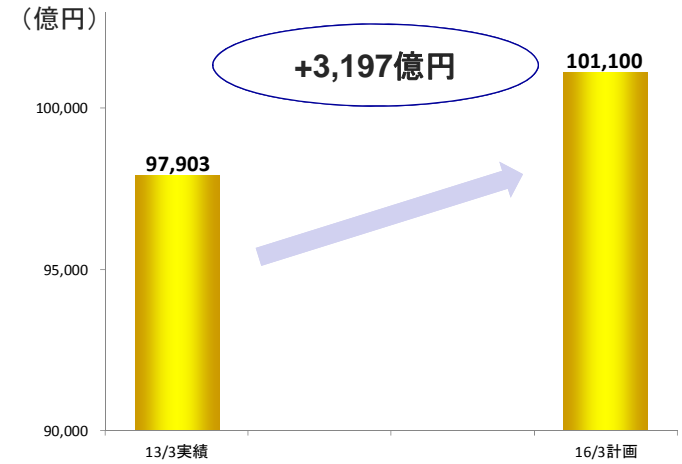


# 新中期経営計画 “GO for IT!” 営業力の強化

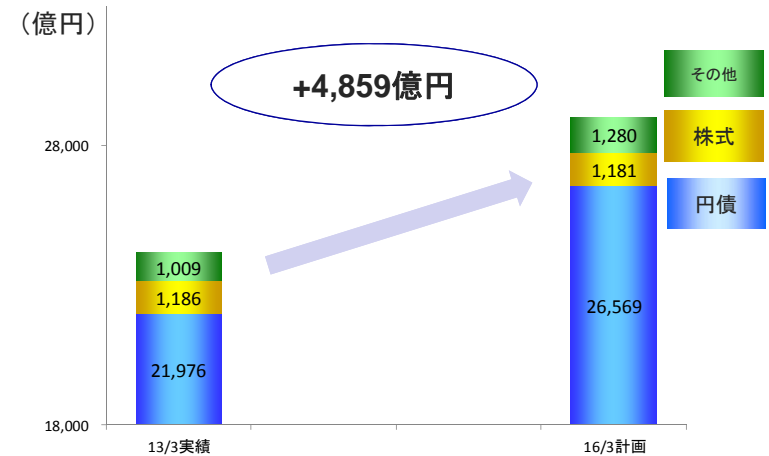
## 貸出金(平残)(2行合算)



## 預金・NCD(平残)(2行合算)



## 有価証券(平残)(2行合算)



## 経営の効率化

## 施策

業務集約化  
共同化の取組強化

- FG規模に見合ったコスト構造構築に向けた取り組み  
本部機能集約化、バックオフィス共同化、商品・広告等の共同化
- 統合管理による態勢強化

共同利用システムの  
メリット追求

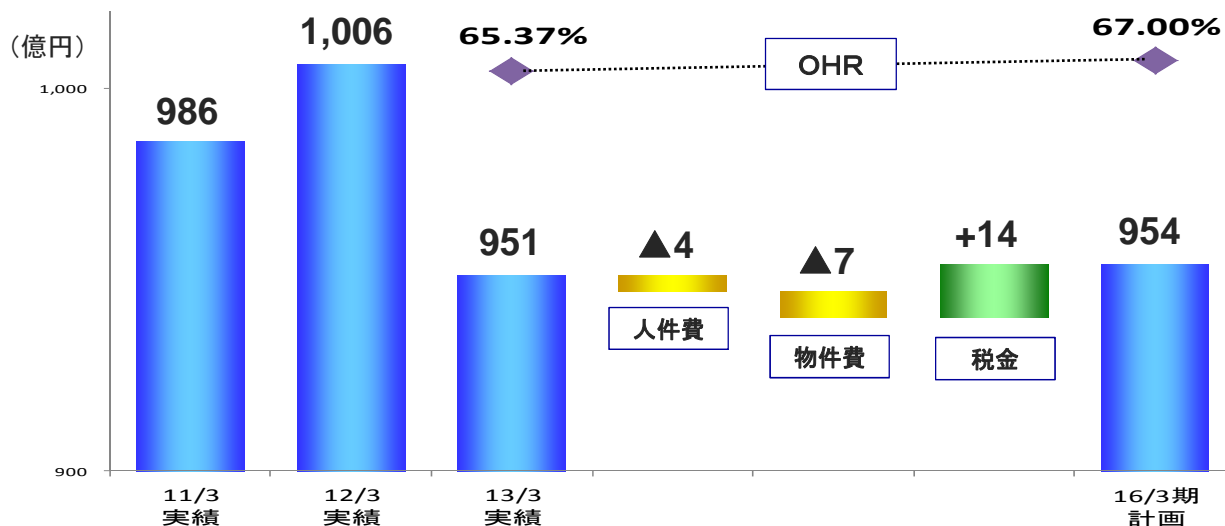
- 3行共同 ⇒ 4行共同態勢による更なるコスト削減
- グループ内サブシステム、事務統合への継続取組

事務効率化  
本部・営業店運営の見直し

- 本部・営業店業務の最適化による効率運営の実現
- 重点営業地域への戦略的人員配置

## 経費・OHR（2行合算）

- システム関連経費は12/3期でピークアウト
- 人件費、物件費の削減図るも消費増税の影響により経費は横ばい。
- OHRはトップラインの低下により現状程度で推移



## 経営基盤の強化

## 施策

### 資本政策

- バーゼルⅢに対応した質の向上
- 株主価値向上に向けた政策の実施

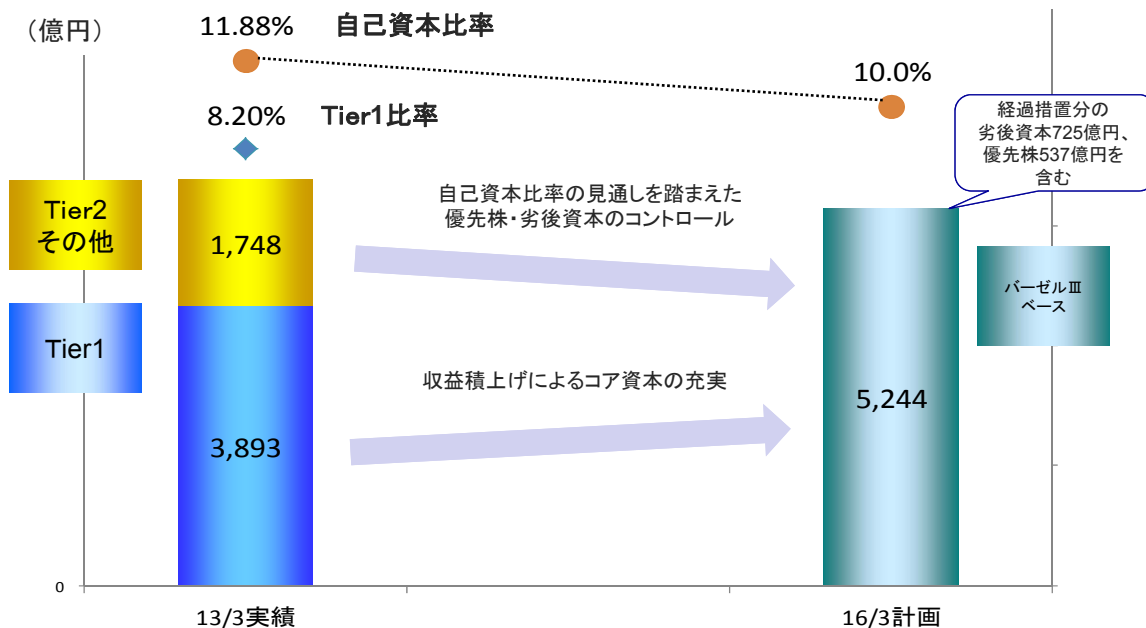
### 資産の質の向上

- リスクウエイトの低い良質資産の積上げ

### 企業再生支援の取組強化

- 外部機関との連携
- 地域再生ファンド活用

### 自己資本比率(FG連結)



### 還元方針

#### 普通株配当

#### 段階的増配

- 配当性向30%以上を基本に収益増強により段階的増配を目指す。
- バーゼルⅢの段階適用による劣後資本等の算入低減を踏まえ、連結自己資本比率10%程度を確保するよう内部留保を積み上げる。

## 新中期経営計画 “GO for IT!” 人財戦略 & リスク管理・コンプライアンス

### 人財戦略

#### ◆ 顧客の信頼を得て、頼りにされる人財の育成

- コンサルティング営業力の向上
- 融資・目利き能力の向上

#### ◆ 人員構成の歪みを補完するための各層の教育態勢を整備

- 若年層行員の戦力化、女性行員、シニア層の戦略的活用

#### ◆ 本部、営業店人員配置の最適化

- 重点営業地域への戦略的  
人員配置

### リスク管理・コンプライアンス

#### ◆ 公正堅実の企業文化の醸成

- 北陸銀行の業務改善計画の確実な履行とグループ経営への展開
- リスクベースアプローチによる内部監査の実施

#### ◆ グループとしての統合的なリスク管理態勢の強化

- 共通与信先の管理強化
- バーゼルⅢを見据えたリスク資本配賦運営態勢の構築

#### ◆ 顧客保護への取組み

- オンサイト・オフサイトモニタリングの機能強化



## 株主とのコミュニケーションの充実

- IR活動の充実
- 株主総会
- 情報開示

## CS向上と顧客保護の徹底

- CS向上活動
- お客さま相談体制の強化
- 顧客保護の徹底

## 従業員満足を高める雇用環境の整備

- 若年層行員、女性行員、ベテラン層行員の活躍機会拡大
- 子育て支援、介護支援
- 能力開発支援

## 地域社会への貢献

- 金融教育活動
- スポーツ・芸術文化振興
- 環境保護活動

個人投資家向けIR



金融教育活動



芸術文化振興



## 中期経営計画 “GO for IT” 計数計画 (2013年4月～2016年3月:3カ年)

(連結／2行合算)	13年3期(実績)	16年3期(計画)	3年間の増減
総預金平残	9兆7,903億円	10兆1,100億円	+3,197億円
貸出金平残	7兆2,778億円	7兆4,800億円	+2,002億円
コア業務純益	503億円	470億円	▲33億円
(連結)当期純利益	181億円	185億円	+4億円
(連結)自己資本比率	11.88%	(連結)自己資本比率 10%以上	(14/3期より バーゼルⅢ)
(連結)Tier I 比率	8.20%		
OHR (コア業務粗利益ベース)	65.37%	67%	+1.63%
不良債権比率	3.11%	2%台	

## 中期経営計画

ネクスト チャレンジ  
“Next CHALLENGE 2013”

2013年5月

基本  
理念

**“もっと” 地域に『親しまれ・頼りにされる銀行』を目指して**

～厳しい環境下でも持続的成長を可能にする基盤（顧客基盤・組織基盤・人的基盤）の構築に“挑戦”する3年間～

**“もっと” 『親しまれる銀行』**

～SS運動の深化と徹底～

**“もっと” 『頼りにされる銀行』**

～地域密着型金融の推進～

基本  
戦略

公正堅実の実践とお客さま目線の徹底

I 営業力の強化

経営の両軸

III 経営基盤の強化

**総合力**

最適配分

最適配分

II 経営の効率化

地域社会への貢献

地域からの信頼獲得／“もっと”地域の活性化に貢献

基盤拡大

収益増強

自己資本  
比率向上

堅実経営  
身の丈経営

リスク耐性  
強化

ブランド力  
向上

## 営業力の強化

### 施策

#### SS運動の見直しと再徹底

- 営業力強化の根本施策であるSS運動の再徹底
- お客さま接点の『質』に拘った訪問活動の展開

#### 家計・企業のメイン化と貸出先数の増強

- 本部サポート強化による貸出増強と貸出先の発掘
- シェア拡大を目指すエリアへの重点的戦力投入
- 助成金活用サポートの一層の強化
- 個人取引へのマーケティング強化(非対面取引の強化)
- ローンプラザでの保険見直し提案の強化

#### コンサルティング営業強化

- 北陸新幹線開業を見据えた特色ある商談会の開催
- PB、M&A専門人財の増員
- 次世代経営者の会OB会の発足

#### 海外進出・貿易支援

- 海外の情報提供能力の強化(質・量・提供可能エリア拡大)
- 海外テレビ会議システムの刷新
- 行政機関・経済団体との紐帯強化による商談会・セミナー開催
- アンチマネーロンダリング体制の整備と定着化

#### 有価証券運用の強化

- 補助エンジンとしての有価証券運用の一層の強化

# 営業力の強化

## 法人取引

## 個人取引

導入・信頼関係構築

お客さまを良く知る  
当行を良く知ってもらう

ニーズキャッチ

お客さまのニーズ・課題の  
把握と認識の共有

提案と実現

効果的な提案の実施  
提案実現に向けた取組み

成果

◆SS運動の見直しと徹底 **根本施策**  
→面談の“質”の向上、情報を組織で共有化

◆行員のコミュニケーション能力向上  
シェア拡大を目指すエリアへの重点的戦力投入（効率化を通じた活動）

◆コンサルティング機能の一層の強化

- 特色ある商談会の開催
- 海外進出・貿易サポート体制の強化
- PB・M&A要員増強 など

● ローンプラザでの保険見直し提案の強化

**共同M-CIFの有効利用  
タブレット端末の活用**

◆個人取引マーケティング強化  
↓非対面層との取引拡大

お客さま満足の上

- ◆事業性貸出の増強
- ◆貸出先数の増加
- ◆総合取引の推進（採算向上）
- ◆給振年金先数の増強
- ◆消費者ローン増強
- ◆預かり資産残高増加

コンサルティング営業の強化

◆企業ライフステージを見極めた的確なコンサルティングの実践

目利き力の鍛錬

本部サポートの強化

地公体・行政機関との紐帯強化

産学官金連携(新事業開発)  
事業再生支援

転換期

成熟期

PB、M&A  
コンサルティング

成長期

海外進出・貿易サポート  
ビジネスマッチング(販路拡大)

創業期  
新事業

助成金アドバイス・財務コンサルティング

◆海外進出・貿易サポート体制の強化◆

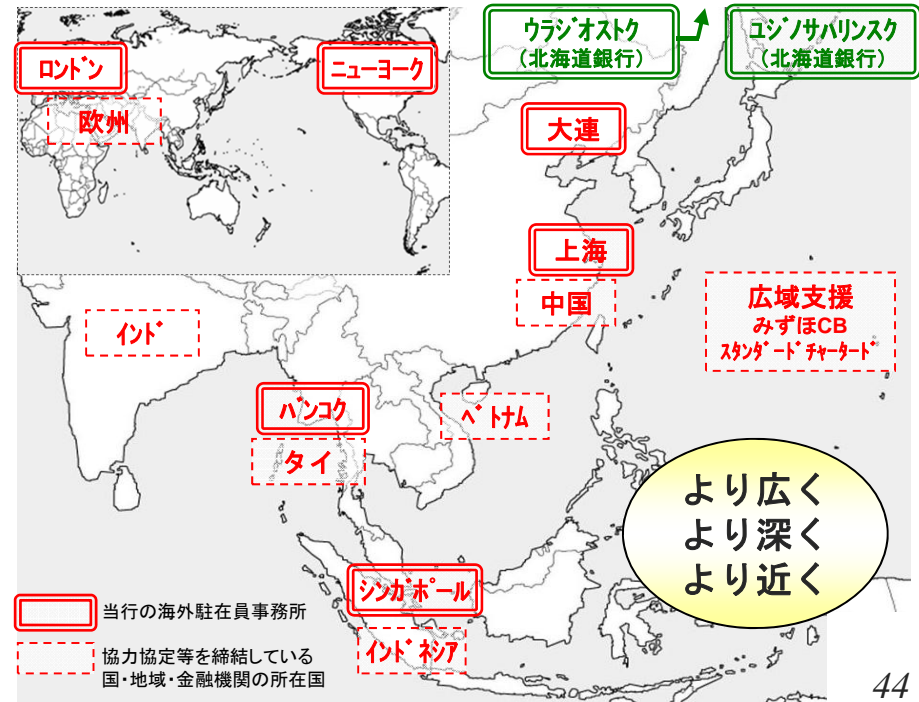
海外進出・貿易支援は地域密着型金融の延長線上  
海外の成長を取り込むお客さまをどこまでも支援する

〔海外進出支援の強化〕

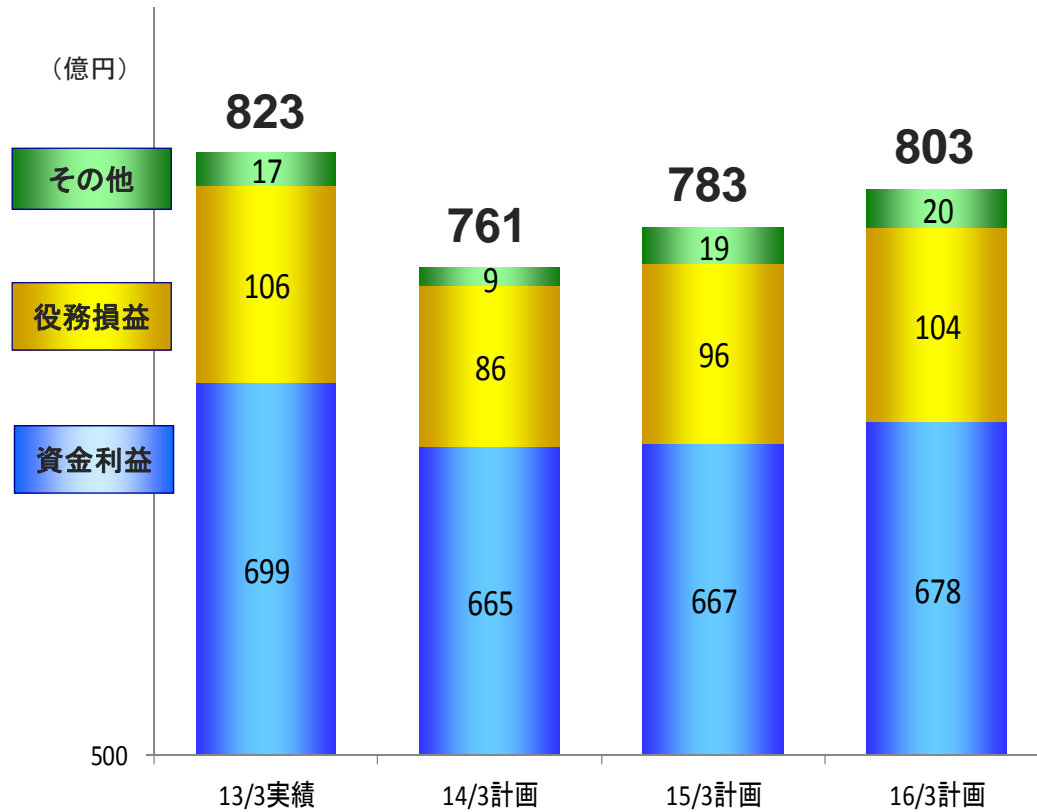
- ✓海外情報提供力の強化
- ✓アライアンス先の活用による提供可能サービスの拡大と質の向上
- ✓『タブレット型』海外テレビ会議システム導入

〔貿易支援の強化〕

- ✓行政機関、商工会議所等と連携した貿易セミナー、海外バイヤー商談会の開催
- ✓外国為替エキスパート人財の育成



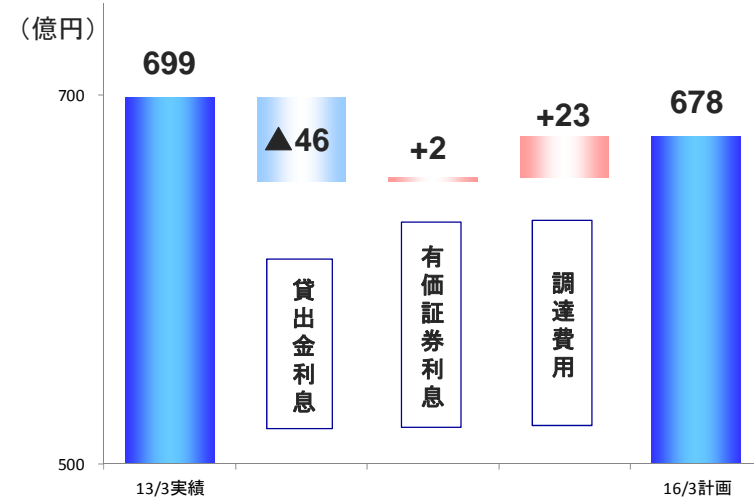
コア業務粗利益



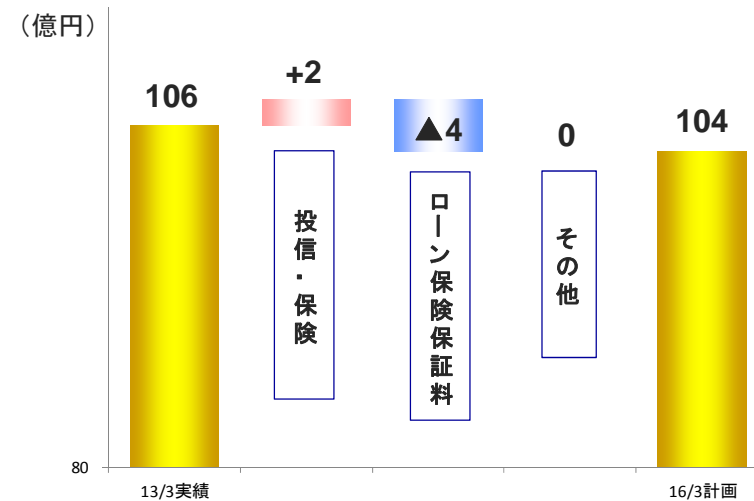
コア業務純益

13/3期実績	14/3期計画	15/3期計画	16/3期計画
314億円	251億円	270億円	283億円

資金利益

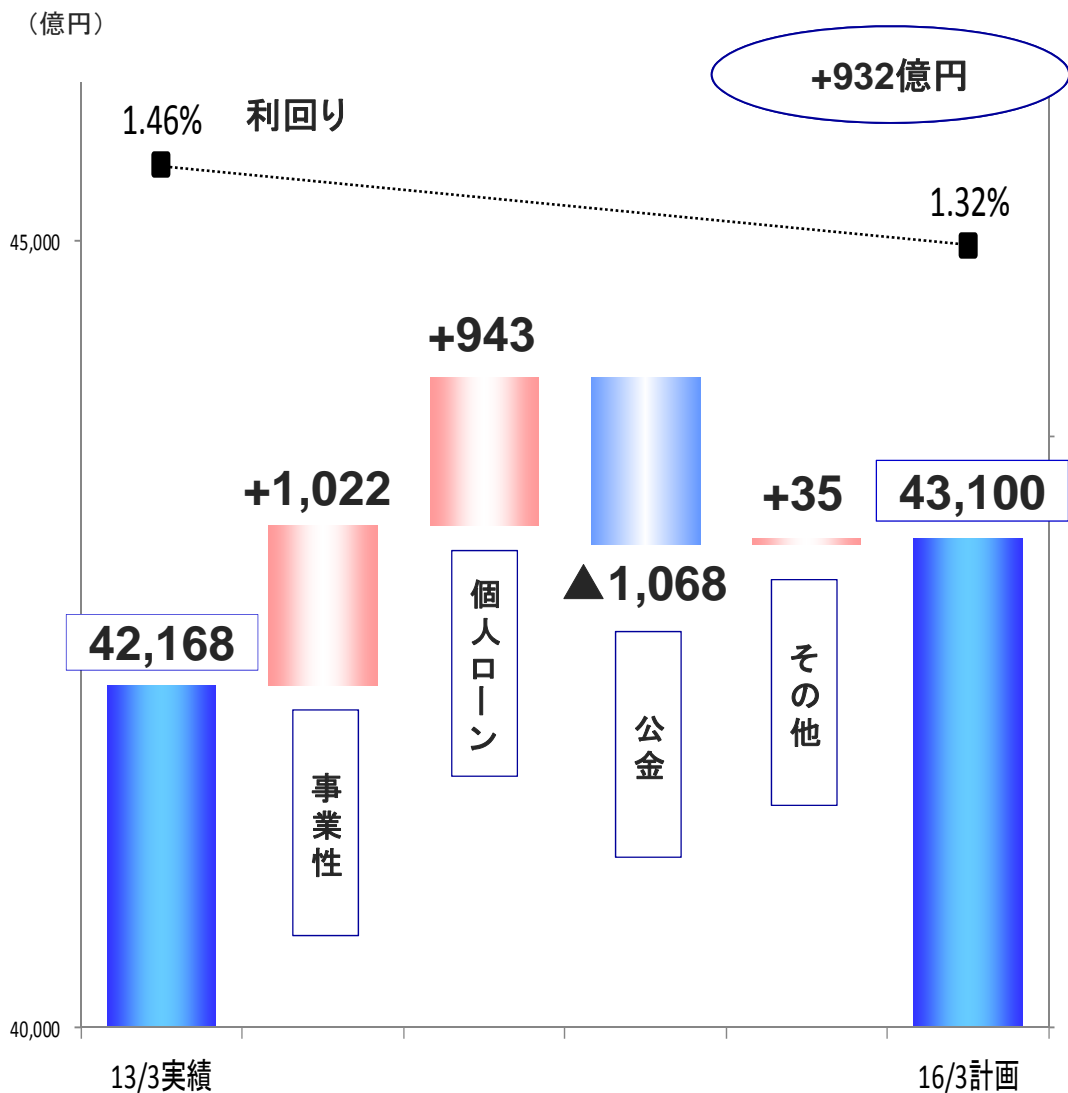


役務損益

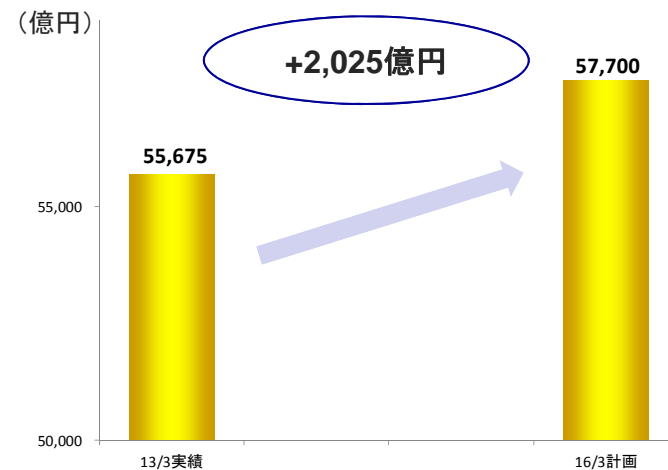




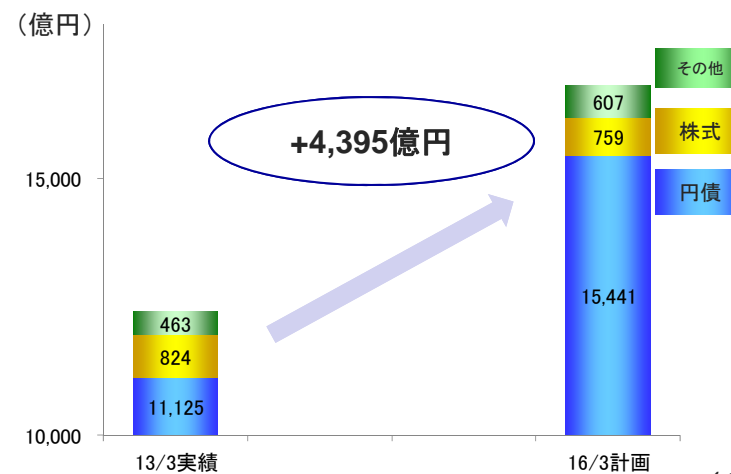
貸出金(平残)



預金・NCD(平残)



有価証券(平残)



## 経営の効率化

### 施策

#### 人員配置の最適化

- 営業店・本部人員の最適配置により総合力(攻めと守りの両立)が最大発揮できる体制の構築

#### 人口動態・競争環境を見据えた店舗再配置

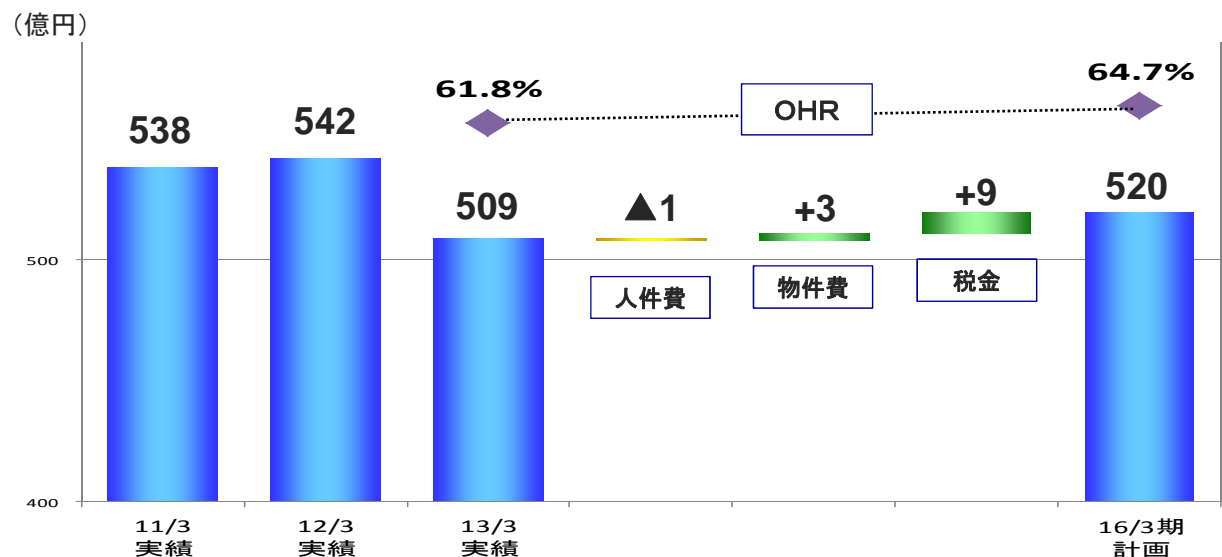
- 将来の人口動態・厳しい競争環境を戦い抜くための最適店舗配置の実現

#### 営業店事務・渉外活動の効率化

- 内部事務の省力化によるコスト削減と店頭営業の強化
- 遠方のお客さまに、より近くの営業店でお取引をしていただくなど、お客さまの利便性と効率を両立できる渉外活動体制の構築

#### 経費・OHR

- ローコストオペレーションの実践
- 物件費は共同M-CIF、タブレット端末コスト、店舗統廃合コスト等により増加するが、それ以外の一般経費は約2億円の削減を実施



**コンプライアンス  
態勢の充実・強化**

- 業務改善計画の着実な履行を通じた経営管理態勢・内部統制態勢の整備

**“お客さま目線”  
経営の実践**

- お客さまの声を集める機能の強化と改善の“見える化”

**人財育成・活用**

**【課題認識】**

- お客さまとのコミュニケーションの円滑化
- お客さまへの更なる高付加価値提案の提供
- 中堅～マネジメント適齢層の人員が少ない
- 2015年3月の北陸新幹線開通による首都圏との時間的距離が短縮  
⇒ 競合金融機関の地方進出が加速

お客さまと共に成長  
**“地域共栄”**

**“進取創造”**  
の精神に富む  
業務推進

両軸の  
バランス

業務推進を支える  
**“公正堅実”**  
な事務・管理

**【課題解決に向けたキーワード】**

<p><b>若手行員</b> 早期戦力化</p>	<p><b>女性行員</b> 活躍機会の拡大</p>	<p><b>ベテラン</b> 戦略的活用</p>
------------------------------	--------------------------------	------------------------------

- 能力・適性に応じた処遇・キャリアの明確化（モチベーションの向上）
- 専門性ある人財の養成（事務管理含む）
- 若手行員を中心とした徹底的な鍛錬（早期戦力化）

企業再生支援を通じた  
開示債権の圧縮

- 外部専門機関(中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構など)の積極活用による企業再生支援の質的・量的強化

金融円滑化法終了後もお取引先の経営改善支援には積極的に対応

将来を見据えた  
リスク管理の強化

- 市場環境変化を見据えたリスクへの適切な対応
- オペリスクへの対応強化
- リスクベースアプローチに基づく内部監査の実施

地域貢献活動の充実

環境活動



富山地区全店一斉クリーン活動  
(2012/09)

芸術文化振興



ほくぎんギャラリー・ミレー  
(写真は2013/03 来場者1万人達成セレモニー)

金融教育活動



金沢大学・富山大学合同上海研修  
(2013/03)

中期経営計画 “Next CHALLENGE 2013” 計数計画(2013年4月～2016年3月:3カ年)

(北陸銀行)	13年3月 (実績)	16年3月 (計画)	3年間の増減
総預金平残	55,675億円	57,700億円	+2,025億円
貸出金平残	42,168億円	43,100億円	+932億円
コア業務純益	314億円	283億円	▲31億円
当期純利益	123億円	120億円	▲3億円
自己資本比率	11.78%	9.70%以上	(14/3期より バーゼルⅢ)
OHR	61.84%	65%未満	
不良債権比率	3.34%	2%台	

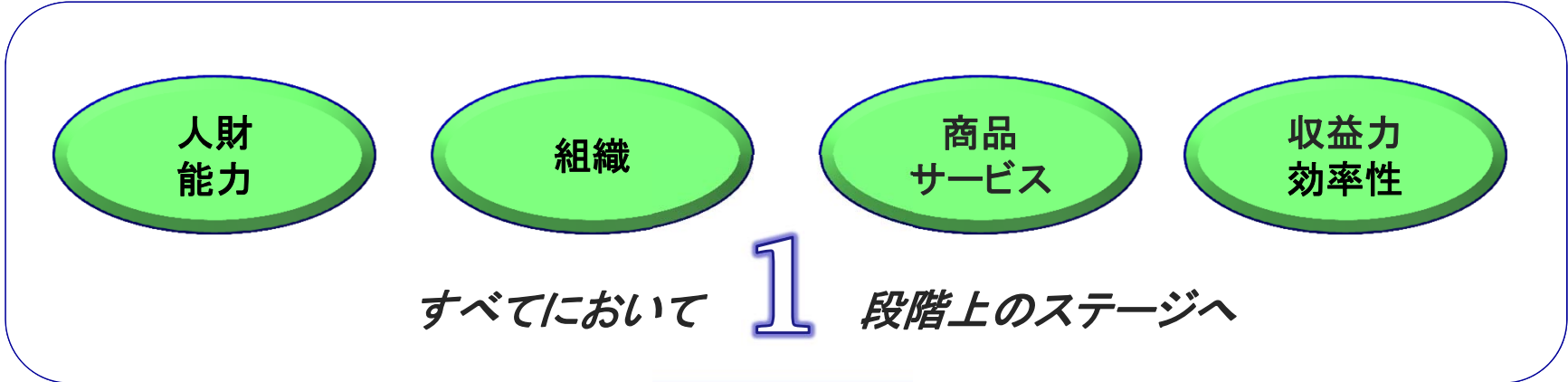


## 中期経営計画

“ALL 1 UP”

2013年5月

# ALL 1 UP



## 基本戦略

- 取引基盤 拡大
- 適切なリスク コントロール
- 経営資源の 再配分
- 人財の 戦略的創出
- アライアンスの 強化・活用
- コンプライアンス の徹底
- CS・CSR の充実

営業力強化・効率運営の徹底による収益力の向上に取り組み、  
長期に亘りお客さまから信頼される金融機関であり続けます。



## 営業力の強化

### マーケットインを重視した推進体制の構築と施策展開

#### 個人戦略

- ライフステージ毎(若年層、資産形成層、資産運用層、資産承継層)のセグメント戦略の構築
- ライフイベントに応じた商品・サービスの拡充とポートフォリオ提案の実践

#### 法人戦略

- コンサルティング力の強化による企業課題へのアプローチ  
(お取引先との経営課題、成長戦略、長期ビジョンの共有)
- 海外進出企業への支援拡充(極東ロシア・ASEANの支援拡充)
- 成長マーケット(農業・食関連、医療・福祉関連等)への取組強化

#### 有価証券運用の強化

- 各種リスクを極小化、安定的な有価証券ポートフォリオの構築
- 収益性と効率性を重視した有価証券運用

#### チャネル強化

- インターネットを活用したサービス機能の強化
- 店舗機能や新規出店
- 保険プラザの新設、住宅ローンプラザの機能強化

#### アライアンスの強化および活用

- グループ会社等との緊密な連携による総合力の発揮
- 東北地方の地方銀行との連携強化によるビジネスマッチングの強化

個人戦略

ライフステージにおけるセグメント戦略の構築商品・サービスの拡充

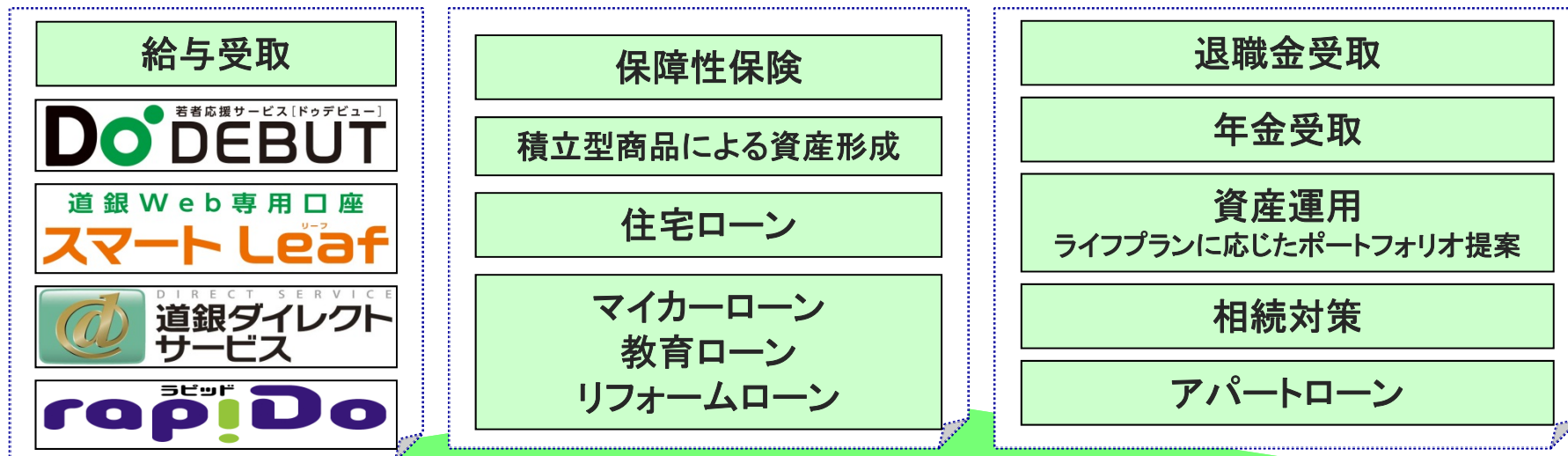
◆ ライフステージにおけるセグメント



◆ ライフイベント

学生－社会人－結婚－子育て－住宅取得－子供の進学・結婚－退職－年金－資産承継

◆ 商品・サービス



MCIFを活用したEBM(イベント・ベースド・マーケティング)によるマーケティング戦略の実践

法人戦略

企業課題へのアプローチ

**【コンサルティング力の強化】**

お取引先と経営課題・成長戦略・長期ビジョンを共有  
(企業課題へのアプローチ)  
各種コンサルティングメニューの活用

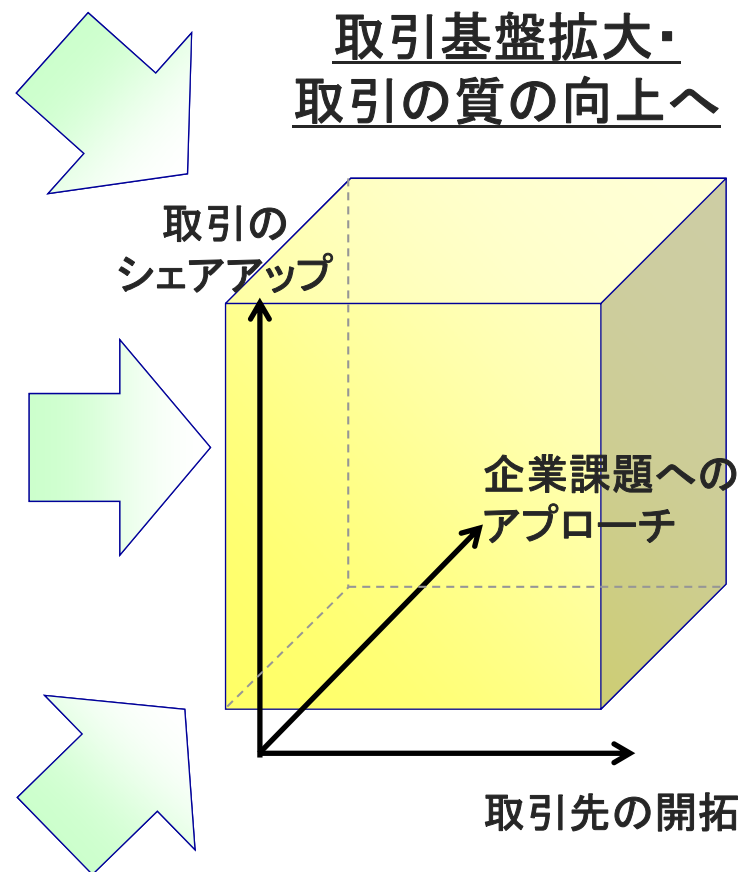
**【海外事業展開支援】**

○ASEAN諸国、中国を中心としたアジア諸国への  
進出支援体制強化  
○ウラジオストク駐在員事務所開設等、極東ロシア  
進出支援体制強化

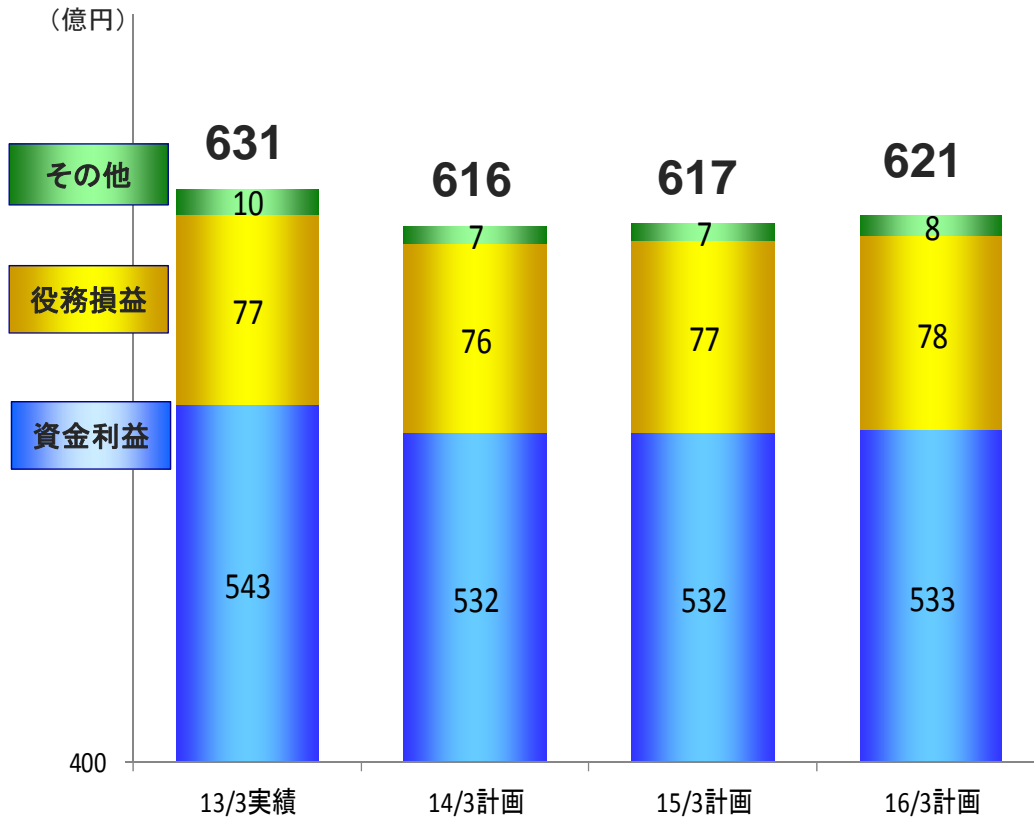
**【成長マーケットへの取組強化】**

○6次化支援等、農業・食関連への取組み  
○各種セミナー等の開催、外部機関も含めたコンサル  
ティング機能を発揮した医療・福祉への取組み

取引基盤拡大・  
取引の質の向上へ



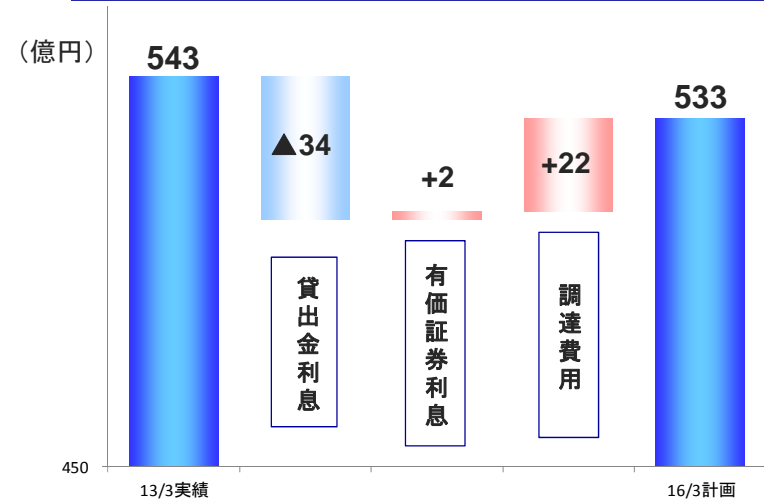
コア業務粗利益



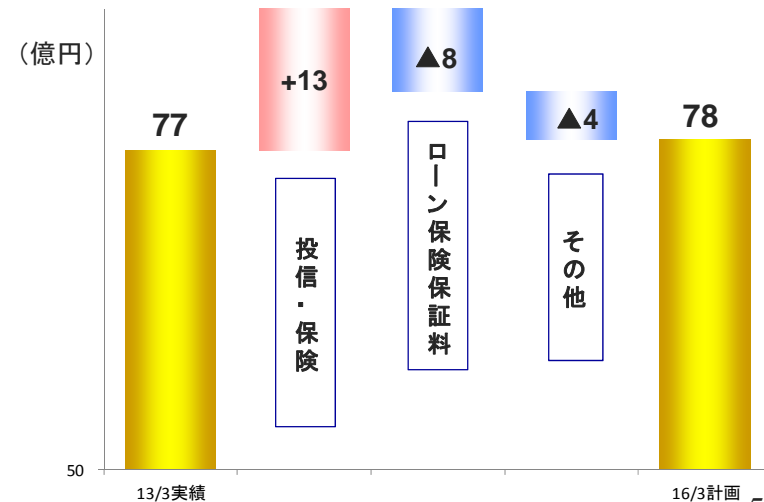
コア業務純益

13/3期実績	14/3期計画	15/3期計画	16/3期計画
189億円	175億円	177億円	186億円

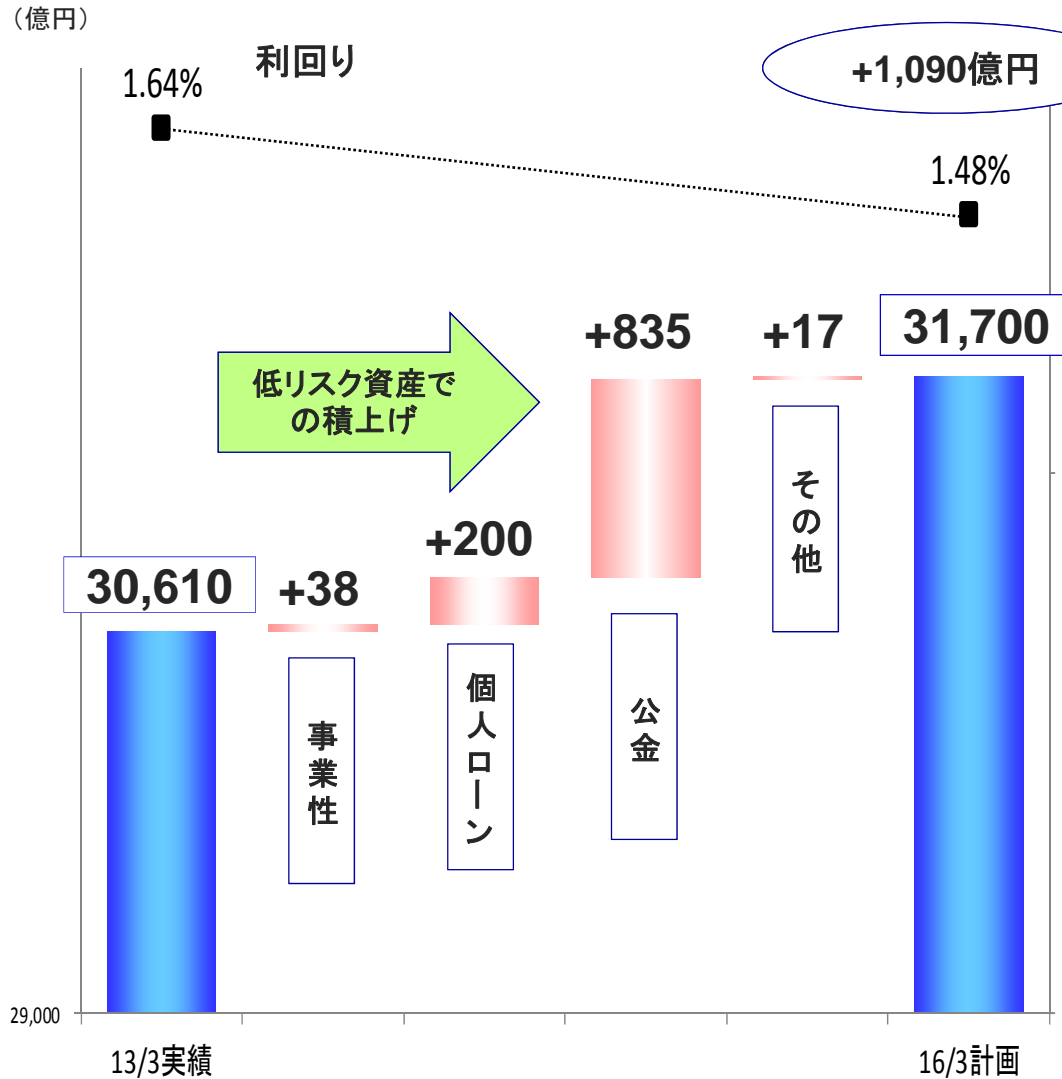
資金利益



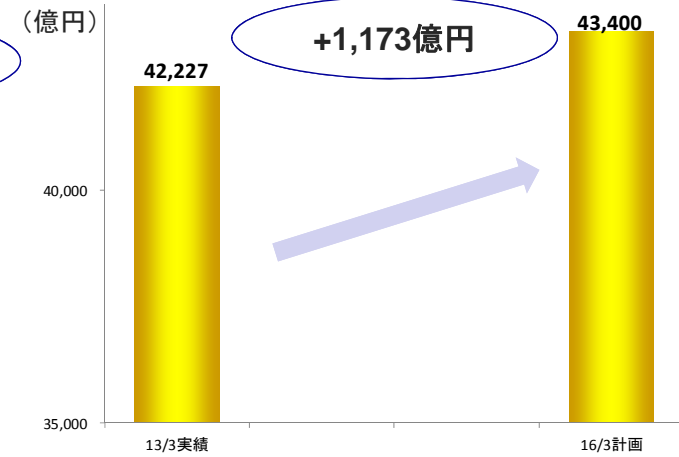
役員損益



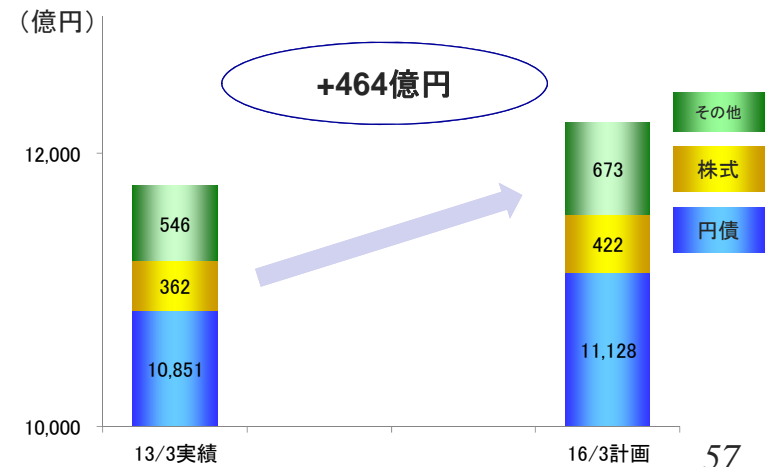
貸出金(平残)



預金・NCD(平残)



有価証券(平残)



## 経営の効率化

### 施策

営業店運営の見直し  
(経営資源の再配分)

- リテール部門への戦略的人員配置
- 重点営業地域に対する戦略的人員配置
- 効率的な営業店運営の追求

経費コントロールの徹底

- 業務・経費の最適化を通じたコストコントロール
- バックオフィスのグループ内共同化

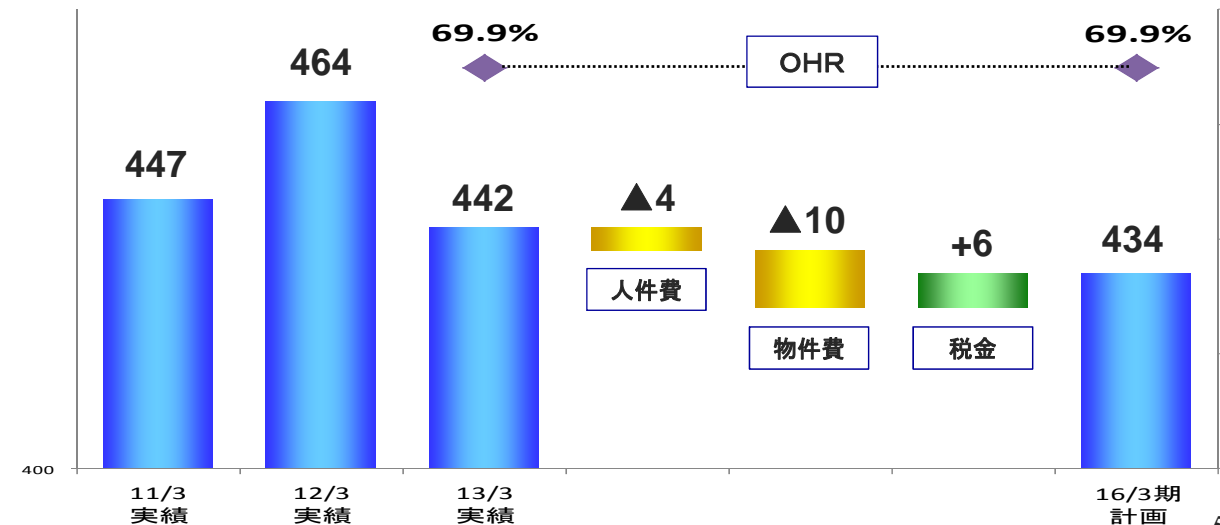
事務効率化

- 本部バックオフィスへの業務集約拡大

### 経費・OHR

- 経費は物件費の削減により8億円減少
- トップラインの低下影響を、効率運営の徹底により打ち消し、OHRの上昇を抑制

(億円)



コンプライアンスの徹底

教育の充実

- 各種研修会等におけるコンプライアンス教育の充実
- 営業店における勉強会の実施

顧客保護への取組み

- オンサイト・オフサイトモニタリングの機能強化

人財の戦略的創出

能力開発・  
育成室の新設

- 各部署から横断的に任命された委員による“能力開発・育成委員会”を組成
- バランス良く組織全体の底上げを図るとともに、業務の多様化に対応できる専門スキルを備えた人財育成強化

求められる人財の育成

- 求められる能力・スキルを備えた人財を「創り出す」育成
- 高度なコンサルティング能力・目利き力を備えた人財
- リテール分野のスペシャリストや成長分野を担う人財

企業再生支援 / 組織改編

企業再生支援

- 円滑化法案終了後のサポート体制の充実と実効性の向上
- 外部機関との連携、ビジネスマッチングやM&Aの活用

地区担当役員の再配置

- 北海道内を8地区に分けて営業担当役員を配置
- 役割と権限を委譲することで地域密着型営業を加速
- スピーディーかつタイムリーにお客さまや地域に高品質のサービスを提供可能な体制の構築

地域貢献活動の充実

環境活動



第4回「道銀の森」植樹活動  
(2012/09)

スポーツ振興活動



北海道銀行フォルティウス  
2012年度全日本選手権準優勝(2013/02)

金融教育活動



あさひかわキッズタウン  
(2012/11)



中期経営計画 “ALL 1 UP” 計数計画(2013年4月～2016年3月:3カ年)

(北海道銀行)	13年3期(実績)	16年3期(計画)	3年間の増減
総預金・NCD平残	42,227億円	43,400億円	+1,173億円
貸出金平残	30,610億円	31,700億円	+1,090億円
コア業務純益	189億円	186億円	▲3億円
当期純利益	72億円	80億円	+8億円
自己資本比率	11.23%	9.50%以上	(14/3期より バーゼルⅢ)
OHR	69.98%	70%未満	
不良債権比率	2.79%	2%台	

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
企画グループ(担当:東)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:[honsha2@hokuhoku-fg.co.jp](mailto:honsha2@hokuhoku-fg.co.jp)

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。